

# 令和 5 年度当初予算(案) 事業等説明資料

一般会計	・・・・・・・・・・・・・・・・	P 1
特別会計	・ 公営企業会計	・・・・・・・・・・・・・・・・ P 39

京都府 宮津市

事業名	関係人口・魅力・移住創出事業 ～関係人口から移住定住に向けた「新たな人の流れ」の創出～	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	H3.1：都市部人材の活用に向け、副業プロ人材活用に係る中間支援組織「MIYAZU未来デザインセンター」を設立 R4.4：「宮津市と株式会社FoundingBaseの包括連携に関する協定」を締結（関係人口創出、地域の魅力発信、移住定住の促進などを連携し協力して取り組むもの） R4.5：前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの開設		35,000	8,803	6,650		12,100	7,447
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」を核として、関係人口づくりから移住定住に至るまでのフローを一本化するとともに、本市の魅力を発信することにより、関係人口から移住定住に向けた新たな人の流れを創出し、「選ばれるまち」づくりを推進するもの。		30,965	国	デジタル田園都市国家構想交付金			8,803
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			5,900
			府	地方創生移住支援事業費補助金			750	
事 業 概 要	<p>■ 都市部等への情報発信力の強化「関係人口創出に向けた情報発信」7,500千円 関係人口の創出に向け、様々なチャンネルや機会を通じた地域ブランドプロモーションを展開し、「宮津を知ってもらおう」機会を創出 ○ 実施内容 ふるさと納税などを通じた魅力ある特産品や事業者、人の暮らしなどを発信し、「宮津ファンづくり」を展開</p> <p>■ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUを拠点にした「関係人口創出」 19,000千円 ○ 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUの運営 14,000千円 都市と地域の「交流の場づくり」などを展開し、関係人口づくりを実施</p> <p>○ MIYAZU未来デザインセンターの外部人材活用事業の支援 5,000千円 都市部人材の活用による地元企業の経営力等の向上を図るため、都市部人材を複業フェローとして受け入れるとともに、関係人口づくりにつなげるもの（令和5年度の事業テーマ（予定）：観光DXによる観光サービスの向上）</p> <p>■ 移住コンシェルジュの設置「関係人口を移住につなげる仕組み創出」7,500千円 関係人口を移住定住につなげるため、総合的な移住相談や移住前後のフォロー等を実施する「コンシェルジュサービス」を展開 ○ 設置場所 前尾記念クロスワークセンターMIYAZU内 ○ 開 設 日 月～日（土日含む）※年末年始は除く</p> <p>【再掲】都市部からの移住創出に向けた支援制度の創設 1,000千円 都市部からの新しい人の流れを作るため、東京圏からの移住創出に向けて、京都府の取組に合わせた移住支援金を創設</p>		168,166	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			12,100
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	関係人口創出・拡大 シティプロモーション 移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	宮津市空家空地対策計画(第2期)			R4～R13	
			期待される効果等	<p>・関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</p> <p>・都市部への情報発信強化等による移住者の呼び込み</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <p>・地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人</p> <p>・市公式HP(シティプロモーション)年間ビュー数 R元 - → R7 10万PV</p> <p>・転出超過数の減少 R元 △63人/年 → R7 0人/年</p>				
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係、魅力発信係			45-1607 45-1609	1・2

事業名	東京圏からの新しい人の流れの創出 (関係人口・魅力・移住創出事業)	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>国の第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」を基本目標に掲げられる</li> <li>R元から京都府において移住支援金の支給制度が開始</li> <li>新型コロナウイルス感染症を機に地方移住への関心が高まっている</li> </ul>		1,000		750			250
		(参考)前年度予算額		特定財源の内訳				
			—	府	地方創生移住支援事業費補助金			750
目的・目標	移住に向けた潜在ニーズが大きい東京圏から宮津市への移住の流れを創出するもの。	(参考)前々年度決算額	—					
		総計重要プロジェクト		若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事業概要	<p>■ 都市部からの移住創出に向けた支援制度の創設 1,000千円</p> <p>都市部からの新しい人の流れを作るため、東京圏からの移住創出に向けて、京都府の取組に合わせた移住支援金を創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対象者 次のいずれかに該当する場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・東京23区に5年以上住所を有していた者</li> <li>・東京圏内に5年以上住所を有し、東京23区内に通勤していた者</li> </ul> </li> <li>○ 条件 宮津市内に移住し、かつ次のいずれかに該当する場合                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府知事の指定する事業者新たに雇用され、東京圏外の事業所で業務に従事すること</li> <li>・移住前の事業者継続に従事すること (いわゆるテレワーク移住)</li> <li>・移住先で起業すること</li> </ul> </li> <li>○ 支援額 基本額：100万円/世帯 (単身世帯の場合は60万円/世帯)</li> </ul>	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
		施策分野	移住・定住促進					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市部からの新たな移住の流れの創出</li> <li>【総合計画テーマ別数値目標】</li> <li>・人口 R元 15,202人 → R7 15,450人</li> </ul>				
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係		45-1607	2	



事業名	定住・空き家対策推進事業	充実	予算額	財 源 内 訳																						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源																		
背景・経緯	・H23.9:みやづUIターンサポートセンターを設置 ・H27.4:京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会を設置(移住定住部会で連携) ・H29.8:宮津市空き家空地対策協議会を設置 ※京都府の移住促進特別区域の指定済地区:宮津・上宮津・吉津・府中・世屋・養老地区(※申請中:栗田・日ヶ谷地区)		40,952	1,499	18,700		9,000	11,753																		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																						
目的・目標	移住希望者等の住環境確保への支援を充実させるとともに、京都府の移住に関する条例に基づく移住促進特別区域の市全域指定を目指し、移住者の受入体制の強化など、地域と一体となった移住定住支援を推進する。 また、第2期空き家空地対策計画に掲げる「地域とともに空き家空地を活かす」を基本方針に、地域や関係機関が連携し、総合的な空き家等対策を推進する。		26,074	国	デジタル田園都市国家構想交付金			1,499																		
			(参考)前々年度決算額	府	子育て支援総合支援事業費補助金			9,000																		
事業概要	<b>■定住支援空き家等改修補助 17,800千円</b> 市内への定住を目的に購入または賃貸した空き家等の改修または家財撤去を支援	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">移住特区 (府1/2・市1/2)</th> <th colspan="2">移住特区外 (市制度)</th> </tr> <tr> <th>空き家改修</th> <th>家財撤去</th> <th>空き家改修</th> <th>家財撤去</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>補助率</td> <td colspan="2">10/10</td> <td colspan="2">1/2</td> </tr> <tr> <td>補助金額</td> <td>1,800千円 (上限)</td> <td>100千円 (上限)</td> <td>1,000千円 (上限)</td> <td>50千円 (上限)</td> </tr> </tbody> </table>	区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)		空き家改修	家財撤去	空き家改修	家財撤去	補助率	10/10		1/2		補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)	7,882	府	移住促進事業費補助金		7,850
				区分	移住特区 (府1/2・市1/2)		移住特区外 (市制度)																			
空き家改修	家財撤去	空き家改修	家財撤去																							
補助率	10/10		1/2																							
補助金額	1,800千円 (上限)	100千円 (上限)	1,000千円 (上限)	50千円 (上限)																						
事業概要	<b>【再掲】結婚・子育て世帯への住宅確保に向けた支援 15,000千円</b> ・「結婚時」と「出産時、小学校就学時」をターゲットにした新たな支援	<b>■地域とともに取り組む移住・定住人口の増加に向けた対応 4,000千円</b> ○移住定住に向けたPR動画の制作 3,000千円【新規】 地域と職員が一体となった動画制作ワークショップの開催 ○移住促進特別区域が取り組む移住受入体制整備への支援 1,000千円(2地区)	総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト	7,882	府	さよ々と地域連携交付金		1,850																		
				府	子ども若者未来応援基金繰入金		6,000																			
事業概要	<b>■移住者の受入体制の強化に向けた調査等 675千円【新規】</b> ○今後の移住定住政策検討に向けたニーズ調査等 500千円 ・市内外の若者や社会人等に対する意見交換会・アンケートの実施など ○市街地内の宅地化促進に向けた研究 175千円 ・未利用土地の利活用に向けた現状や課題の把握、宅地化を促進するための対応の検討	<b>■空き家空地対策の実施や空き家バンクの運営等 3,477千円</b>	テーマ別戦略 住みたい、住み続けたいまちづくり	7,882	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金		6,000																		
				繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		3,000																			
事業概要	<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b> R3 第2期宮津市空き家空地対策計画 R4~R13	<b>期待される効果等</b> ・住環境の確保支援による移住・定住者の増加 ・地域(自治会、地域会議)等との連携による空き家等の掘り起こしと確保 ・京都府の移住促進特別区域における地域主体の移住受入取組の推進	担当部署 企画財政部 企画課 定住・地域振興係	7,882	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		3,000																		
				7,882	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		3,000																		
事業概要	<b>【総合計画テーマ別数値目標】</b> ・人口 R元 15,202人 → R7 15,450人 ・宮津に住み続けたい人の割合 R元 61% → R7 80%	11 住み続けられるまちづくりを 17 ハートナーシップで目標を達成しよう	3・4 7・16	7,882	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		3,000																		
				7,882	繰入	まち・ひと・しごと創生基金繰入金		3,000																		

事業名	結婚・子育て世帯へのすまい確保支援 ～若者定住の「節目」を捉えた重点的な定住支援策の実施～ (定住・空き家対策推進事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H23.9: みやづUIターンサポートセンターを設置</li> <li>・H24.4: 移住者に対する空家改修補助制度を創設</li> <li>・R3.4: 多子世帯に対する支援制度を充実</li> </ul>		15,000		9,000		6,000	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	移住定住人口の増加を図り、人口減少に歯止めをかけるとともに、産業や地域の担い手不足の解消など地域課題の解決につなげるため、若者定住の「節目」を捉えた重点的な定住支援策を実施し、若者定住の促進につなげるもの。		2,000	府繰入	子育て支援総合支援事業費補助金		9,000	
			(参考)前々年度決算額			子ども若者未来応援基金繰入金		6,000
事業概要	<p>■結婚・子育て世帯へのすまい確保に向けた支援 15,000千円</p> 若者定住における主なタイミングである「結婚時」と「出産時、小学校就学時」をターゲットにした新たな支援策を実施 <p>○【新規】結婚世帯へのすまい確保に係る支援 6,000千円</p> 新婚世帯の新生活をスタートする経費を支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 家賃、引越費用等</li> <li>・対象者 補助金を申請する年度中に婚姻届けを提出し受理された夫婦 (所得要件あり)</li> <li>・補助率 1/2</li> <li>・補助上限 ①夫婦ともに年齢が29歳以下の場合 60万円 ② " 39歳以下の場合 30万円</li> </ul> <p>○【充実】子育て世帯へのすまいリフォーム支援 9,000千円</p> 子育て世帯の住宅リフォーム経費の支援を拡充し、子育てしやすい環境づくりを促進 <ul style="list-style-type: none"> <li>・対象経費 リフォーム工事費</li> <li>・対象物件 すべての物件 (空家バンク物件等の限定なし)</li> <li>・対象者 三世帯同居・近居世帯、多子世帯 (子ども3人以上世帯) (所得要件あり)</li> <li>・補助率 1/2</li> <li>・補助上限 100万円</li> </ul>		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
事業概要			施策分野	移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】	R3	第2期宮津市空家空地対策計画			R4～R13
事業概要			期待される効果等	・住環境の確保支援による移住・定住者の増加 ・若者定住の促進による産業や地域の担い手不足の解消 【総合計画テーマ別数値目標】 ・人口 R元 15,202人 → R7 15,450人 ・宮津に住み続けたい人の割合 R元 61% → R7 80%				
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係		45-1607		4



事業名	みやづ城東タウンリノベーション事業（定住促進住宅整備事業） ～若者が住みたい、選ばれるまちづくりに向けて～	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ S63～H18:関西電力（宮津エネルギー研究所）社宅</li> <li>・ H19.4:関電不動産㈱から建物（定住促進住宅用家屋）を寄付受納</li> <li>・ H19.4:関西電力㈱と一般定期借地権設定契約を締結（借地権50年間 ～R39.3末）</li> <li>・ H19.5:市営住宅（52戸規模）として入居開始</li> <li>・ R04～:リノベーション事業の実施（R4当初予算/6戸、9月補正/6戸）</li> <li>・ R04.10～:リノベーション住戸の入居者募集（福祉等就労者及び若者対象）</li> </ul>		26,700			19,300		7,400
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			20,000	市債	過疎対策事業債			19,300
			(参考)前々年度決算額					
			—					
目 的 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ みやづ城東タウンのリノベーションや入居要件の拡充により、移住・定住促進を目的とした住環境を整えることで、「若者が住みやすい、選ばれるまちづくり」を推進する。</li> </ul>	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
事 業 概 要	<p>■リノベーションによる若者定住促進 26,700千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戸数 6戸</li> <li>○内容 間取り変更（3DK→1LDK）、設備更新等</li> <li>○入居条件 40歳未満の方（単身者も入居可能）</li> <li>○家賃 5万円/月</li> <li>※駐車区画1台込み、屋外倉庫付き</li> <li>○入居時期 令和5年10月予定</li> </ul>  <p>■空き住戸を活用した事業所への社宅貸付等 ゼロ予算</p> <p>みやづ城東タウンの住戸のうち、子育て世帯等での利用が比較的困難な住戸について、空き住戸の有効活用を図る観点で、事業所への社宅等への利活用を進めるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○戸数 8戸（A棟及びB棟4階の各4戸）</li> <li>○貸付について（公募条件） <ul style="list-style-type: none"> <li>・対 象 事業所</li> <li>・貸付料 1戸当たり年額468,000円（月額39,000円/戸）</li> <li>・貸付期間 10年間</li> <li>・貸付方法 一般公募。現状有姿のまま貸付</li> </ul> </li> </ul>	施策分野	移住・定住促進					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R元	宮津市公営住宅等長寿命化計画			R元～R10		
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リノベーションによる住環境の充実と移住・定住の促進</li> <li>・入居率の向上による増収</li> </ul> 					
		担当部署	建設部 都市住宅課 建築住宅係		45-1631		5	

事業名	住宅建設促進に向けた市有土地の有効活用	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>人口減少が続く中、若者世代に「選ばれるまち」を目指した総合的な移住・定住対策」を最重要施策と位置付けR5より強力に推進。</li> <li>各種分析より、本市の「住環境不足」(宅地の開発・流通量が近隣市町と比べて少ない、低廉な賃貸物件が少ない等)は大きな課題と判明。一方で、宅地開発に資すると考えられる市遊休保有地については、従前から公募による売却を図っているものの、価格がネックとなり進んでいない状況。</li> <li>持続可能な行財政運営有識者会議(R5.2月 第3回会議)において、予定価格引き下げ等による売却促進の方向性を確認。</li> </ul>		ゼロ予算					
			(参考)前年度予算額					
			—					
			(参考)前々年度決算額					
目 的 標	移住・定住を促進する観点から、居住用途に適した市有土地の売却に当たり、これまでの公募条件を見直し、住宅建設の促進を図る。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
事 業 要 概	<b>■住宅建設促進に向けた市有土地の有効活用</b> 下記の条件を満たす公募中の市有土地について、最低売却価格の引き下げなど公募条件を見直し、売却及び住宅建設の促進を図る。		施策分野	移住・定住促進				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H27	宮津市公共施設等総合管理計画			H27～R7	
			R2	宮津市公共施設再編方針			R2～R12	
			R2	宮津市第2期宮津市行財政運営指針			R3～R12	
			期待される効果等	・居住用途に適した市有土地の売却による住宅建設の促進 ・増収対策(土地売却収入、固定資産税収入)				
			 8 働きがいも経済成長も					
			 11 住み続けられるまちづくりを					
			担当部署	企画財政部 財政課 資産活用係		45-1611		6
			※物件①と②は、建物除却費相当額控除後の額					

	対象土地	公募条件	最低売却価格の引き下げ額 (評価額から差し引く額)		公募方法
ア	○面積が400㎡以上(宅地2区画分以上) ○生活利便性が極めて高い地域にある土地	一定期間内に居住用途に供する	土地評価額の1/2 (引き下げ後の最低売却価格:土地評価額の1/2)	※建物除却費相当額控除後の額が負数になる場合は1万円	公募型プロポーザル ※仮契約後に議会の議決を求める(地方自治法第237条に基づく減額譲渡に係る議決)
イ	○ア以外の土地 ○公募から3年が経過しても売却に至っていない土地	—	土地評価額の1/5 (引き下げ後の最低売却価格:土地評価額の4/5)		一般競争入札

<参考>引き下げ後の最低売却見込価格(令和4年度の不動産評価額によるもの)

区分	物件名	地積	現在の先着順公募	引き下げ後
ア	①旧福祉センター	908㎡	17,170千円	10千円
	②旧互助会館	422㎡	9,580千円	780千円
イ	③惣(宅地)	195㎡	4,350千円	3,480千円
	④喜多(宅地)	134㎡	2,880千円	2,310千円
	⑤須津商業地	237㎡	7,170千円	5,740千円

令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	中学卒業・夢未来応援事業	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H5.10：子育て医療助成（府）制度開始（以降順次拡充）</li> <li>・R4.9：子育て支援医療助成制度あり方検討会議（第1回～第2回）</li> <li>・R5.1：子育て支援医療助成制度あり方検討会議（第3回）</li> </ul> 【通院医療費の自己負担額月200円(1医療機関当たり)の対象年齢を3歳未満から小学6年まで拡充】 ※現在、本市では府制度に上乘せした医療助成を行っているため、府制度拡充に伴う余剰財源は今後、本事業を含む子育て支援施策に充てることとする。		13,000	13,000				0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			—	国	地方創生臨時交付金			13,000
目 的 目 標	コロナ禍において、急激な物価高騰により子育て世帯など日常生活で様々な影響を受ける中、義務教育を修了し、進学や就職など新たなステージに旅立つ中学生を応援するため、中学校等卒業生の保護者を対象に応援金を支給するもの。		(参考)前々年度決算額					
			—					
事 業 概 要	<b>■中学卒業・夢未来応援金 13,000千円</b> 中学校等を卒業する生徒の保護者を対象に新生活に向けた応援金として一律に支給 <b>●応援金 12,900千円</b> <b>○対象者</b> 令和4年度及び令和5年度の3月に中学校等を卒業する生徒の保護者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度卒業生(予定)：137名</li> <li>・令和5年度卒業生(予定)：121名</li> </ul> ※ただし、支給対象は生徒が卒業する日の属する年度の1月1日に宮津市に住民登録がある保護者に限る  <b>○支給額</b> 生徒1人当たり5万円  <b>○支給時期</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度卒業生：令和5年5月頃</li> <li>・令和5年度卒業生：令和6年1月～2月頃</li> </ul> <b>●事務費 100千円</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・振込手数料ほか</li> </ul>		総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校等卒業生を対象とした給付金一律支給は府内初</li> <li>・保護者の経済的負担の軽減</li> </ul> <b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合) H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2% 66.0%				
			 					
			担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係	45-1621	8		

事業名	保育サービスの向上に向けて (子ども・子育て支援推進事業)	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3～：福祉・教育総合プラザ内に保育コーディネーターを配置</li> <li>・R4～：保育・教育の質向上のための研修会、就学前施設長による保育サービス拡充・適正化研究会の開催</li> <li>・R5.1：国が事務連絡「保育所等における使用済みおむつの処分について」を発出</li> </ul>		5,600		2,800		2,800	0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	<p>保育所等の在園児に対して、保護者・保育士の負担が大きい「紙おむつ等」の持参及び持ち帰りを廃止し、紙おむつ等を無償提供する新しいサービスを導入することで、保護者負担の軽減を図るとともに、保育士の負担軽減による空き時間を保育サービスの向上につなげ、より満足度の高い保育サービスを提供するもの。</p>		—	府	きょうと地域連携交付金			2,800
			(参考)前々年度決算額	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			2,800
事 業 概 要	<p><b>■就学前施設における紙おむつ等の無償提供 5,600千円</b></p> <p>○実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙おむつ、おしりふきの無償提供</li> <li>・使用済み紙おむつ持ち帰り廃止に伴うごみ箱等購入補助</li> </ul> <p>○対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全就学前施設（保育所（園）、こども園、幼稚園）</li> <li>※R5.2.1現在入所児童数415人</li> </ul> <p>○特 長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の経費負担無し（無料）</li> <li>・対象児童の年齢を制限せず、紙おむつが不要となる時まで提供</li> </ul> <p>【参考】保育所等における紙おむつ等の現状</p> <p>○保護者側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育所等の登園時、子ども用の布団（月曜のみ）や衣類、タオル、紙おむつなど、多数の物品を日々持参している</li> <li>・紙おむつは、1枚ずつ子どもの名前の記入が必要であり、登園準備に時間がかかる</li> </ul> <p>○施設側</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所児童それぞれの紙おむつの把握、使用間違い防止、残数確認や保護者への補充連絡などの業務負担が生じている</li> </ul>		総計重点プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画	R2～R6			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の育児負担及び経済的負担の軽減、保育士等の業務負担の軽減</li> <li>・京都府北部(5市2町)では初の取組(府内2例目)</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市の子育て環境や支援に対する満足度(普通～満足度が高いと回答した割合)</li> <li>H30 就学前69.1% → R5 74.0%</li> <li>小学生61.2% 66.0%</li> </ul>				
			担当部署	健康福祉部社会福祉課 子育て支援係		45-1621	9	

令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

事業名	子育て応援！パパママのゆとり時間応援事業 (地域子育て支援事業)	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	・H29.11 :子育て支援センター「にっこりあ」開設、利用者支援事業を開始 ・R2～ :ファミリー・サポート・センター事業の預かり場所として「にっこりあ」 を利用開始、乳児親子向け事業「赤ちゃんひろば」を開始 ・R3～ :「にっこりあ」facebookの運用開始、オンライン子育て相談を開始 ・R4.11～:「にっこりあ」で託児サービスを試行実施		2,550	850	850		800	50
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			—	国	子ども・子育て支援交付金	850	府	子ども・子育て支援交付金
目 的 目 標	子育て中の保護者の負担を少しでも軽減し、ゆとり時間（息抜き時間）を提供することで、余裕をもって育児ができる環境を提供するため、子育て支援の拠点施設「にっこりあ」において、託児サービスの提供を目指すこととし、実施に向けたニーズや課題の把握等を行い、適切なサービス展開につなげるもの。		(参考)前々年度決算額	繰入	子ども若者未来応援基金繰入金	800		
			—					
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
事 業 概 要	<b>■子育て支援センター「にっこりあ」での託児サービスの試行 2,550千円</b> 令和4年度に引き続き、「にっこりあ」で託児サービスを試行実施し、今後の本格運用に向けたニーズ調査や課題把握等を行うもの。  <b>【内 容】</b> ○対 象：宮津市在住の就学前児童（主に未就園児） ○時 間：・毎週月・水曜日（午前・午後） 午前9時30分～午後3時30分のうち午前2時間、午後2時間預かり ・毎週火・金曜日（午後のみ） 午後0時30分～午後3時30分のうち2時間預かり ※土・日曜についても順次実施予定 ○定 員：各3名程度（午前・午後） ○利用料：無料		テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり				
			施策分野	子育て支援				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2～R6	
期待される効果等	みんなで育み、みんなが育まれるまち、みやづの実現 ・子育ての負担軽減  <b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・市の子育て環境や支援に対する満足度（普通～満足度が高いと回答した割合） H30 就学前69.1% → R5 74.0% 小学生61.2%                      66.0%							
担当部署	健康福祉部 社会福祉課 子育て支援係			45-1621		10		



事業名	新規	予算額	財源内訳				
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
<b>妊産時から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援 (出産・子育て応援事業)</b>		7,800	6,350	1,325			125
	・R4.10.28:国において「物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策」を策定 ・R4.12.2:出産・子育て応援交付金を含む国補正予算が可決 ・R5.2.1:伴走型相談支援と経済的相談支援を一体とした事業開始	(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
<b>背景・経緯</b>		—	国	出産・子育て応援交付金		5,150	
			国	地方創生臨時交付金		1,200	
<b>目的・目標</b>		—	府	出産・子育て応援交付金		1,325	
	妊婦や子育て家庭（特に低年齢期（0歳～2歳））に寄り添い、出産・育児等の見通しを立てるための面談や継続的な情報発信等を行うことを通じて必要な支援につなぐ伴走型相談支援の充実を図るとともに、妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対する経済的支援を一体として実施することで、安心して出産・子育てができる環境を充実するもの。	(参考)前々年度決算額					
<b>事業概要</b>	■ 出産・子育て応援事業 7,800千円 妊娠届出や出生届出を行った妊婦等に対し、経済的支援と伴走型相談支援を一体として実施する ● 経済的支援（給付金：7,200千円、事務費：200千円） 【支給額】 ・妊娠届出後：出産応援給付金 妊婦1人あたり5万円 ・出生届出後：子育て応援給付金 子ども1人あたり5万円  【対象者】 R5.4月からR6.3月末までの間に妊娠・出産をされる方 72人（見込）  ● 伴走型相談支援 400千円 ・相談体制の充実（保健師による相談） ○ 妊娠届出後 ・面談を行い、アンケートの記入や子育てガイドを渡し、妊娠期の過ごし方や利用できるサービス等を説明。 ○ 妊娠8か月頃 ・面談の案内文とアンケートを郵送し、希望者に対し面談を実施。 ○ 出生届出後 ・家庭訪問し、子育てガイドに沿って、子育てサークルの紹介や産後に利用できるサービス、保育所等の入園手続き等の紹介、育児相談等を行う。	総計重要プロジェクト 若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
	施策分野	子育て支援					
	【宮津市総合計画以外の計画】						
	R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画 R2～R6					
	期待される効果等	出産・子育て環境の充実  					
	担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係 45-1624					

事業名	学校トイレ洋式化の推進 (中学校施設整備事業)	新規	予算額	財源内訳																
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源												
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2.3: 第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画策定</li> <li>R3.3: 宮津市教育大綱・教育振興基本計画策定</li> <li>R3.3: 学校施設長寿命化調査・点検業務の実施</li> <li>R5.3: 宮津市学校施設長寿命化計画策定</li> <li>R5.3: 第2期学校施設整備年次計画策定</li> </ul>		58,000	13,496		44,500		4												
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳																
目的・目標	第2期学校施設整備年次計画に基づき、学校施設のトイレ洋式化を推進することで、子どもたちがいきいきと学び、安全・安心に学校生活を送れる教育環境を整える。		—	国	学校施設環境改善交付金		13,496													
			(参考)前々年度決算額	市債	過疎対策事業債		44,500													
事業概要	<p>■学校トイレ洋式化の推進 58,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○改修学校施設 宮津中学校</li> <li>○整備内容 トイレ洋式化、乾式の床への変更(衛生面の向上)</li> <li>○整備箇所 教室棟東側27基、体育館5基 (生徒が普段使用する教室棟及び体育館のトイレを優先して実施) ※他のトイレ(教室棟西側及び管理棟トイレ)については、今後の学校施設整備年次計画において実施時期を検討</li> </ul> <p>&lt;参考&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○トイレ洋式化の状況</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>幼稚園</th> <th>小学校</th> <th>中学校</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.12月時点</td> <td>100%</td> <td>51.9%</td> <td>22.8%</td> </tr> <tr> <td>今回の整備後</td> <td>100%</td> <td>51.9%</td> <td>48.9%</td> </tr> </tbody> </table>		幼稚園	小学校	中学校	R4.12月時点	100%	51.9%	22.8%	今回の整備後	100%	51.9%	48.9%		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト				
			幼稚園	小学校	中学校															
R4.12月時点	100%	51.9%	22.8%																	
今回の整備後	100%	51.9%	48.9%																	
テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり																			
			施策分野	学校教育																
			【宮津市総合計画以外の計画】																	
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2~R6													
			R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画			R3~R7													
			R4	第2期学校施設整備年次計画			R5~R9													
			R4	宮津市学校施設長寿命化計画			R5~R14													
			期待される効果等	子どもたちがいきいきと学び、安全・安心に学校生活を送れる良好な教育環境の充実																
																				
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校給食・施設係			45-1662	12												

事業名	新規	予 算 額	財 源 内 訳				
			国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
<b>女性働きやすい職場づくりプロジェクト (男女共同参画推進事業)</b>  背景・経緯 ・H11 : 「男女共同参画社会基本法」の公布・施行 ・H14 : 「宮津市男女共同参画基本計画～新ウインドプラン21～」の策定 ・H27 : 「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律(女性活躍推進法)」の公布・施行 ・H29.3 : 「宮津市男女共同参画基本計画～ウインドプラン2017～」の策定		1,000	500		500	0	
	(参考)前年度予算額		特定財源の内訳				
		-	国	デジタル田園都市国家構想交付金			500
			繰入	子ども若者未来応援基金繰入金			500
	(参考)前々年度決算額	-					
目的・目標 ・男女の人権が等しく尊重され、あらゆる分野において女性が活躍し、喜びも責任も分かち合う男女共同参画社会の実現を目指す。 ・「選ばれるまち」に向け、魅力ある働く場づくりの一環として、働く女性の活躍を支援し、男女ともに働きやすく働きがいのある事業所の増加を図る。	総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
事業概要 ■働く場における男女共同参画の推進(女性活躍応援塾) 1,000千円 働く場(市内事業所)において、いきいきと働く女性が増え、更に活躍していくための女性活躍応援塾を開催する。  【事業内容(予定)】 ◇女性活躍応援塾 ○外部講師による講座(4回開催予定) ・活躍への意欲向上に向けた自己認知力の向上等 ・連続講座を通じた働く女性のネットワーク構築 ○受講者の発表 ・事業所の経営者等へ情報提供 働く女性の考えを事業所へ浸透させ、働きやすく魅力的な職場環境づくりへ ◇対象者 市内事業所の女性社員	施策分野	移住・定住促進、男女共同参画・女性活躍					
	【宮津市総合計画以外の計画】						
		H27	宮津市人権教育・啓発推進計画(第2次)			H28～R7	
		H28	宮津市男女共同参画基本計画			H29～R8	
		期待される効果等	○働きやすく働きがいのある魅力的な職場を目指す事業所の増加 ○受講者相互の女性ネットワークの形成  【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・30歳代女性の労働力率 H27:77% → R7:80%    				
	担当部署	市民環境部 市民環境課 人権啓発係			22-4622		13

事業名	宮津の新たな学び創造事業 ～明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成～	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2.4: 小中一貫教育の全面実施、コミュニティ・スクールの本格導入</li> <li>R3.3: 宮津市教育大綱・教育振興基本計画(R3~R7)策定 宮津市学力向上プラン(R3~R7)策定 宮津市立小中学校において、1人1台ICT端末環境整備が完了</li> <li>R3.9: AIドリル、プログラミング教材等の導入</li> <li>R4.3: 家庭学習用通信機器(貸出用モバイルルーター)整備</li> </ul>		6,433		2,000		4,416	17		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			6,625	府	絆の作り手育成プログラム研究校委託金		200			
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金		1,800			
目的 目標	<p>「明日の宮津を創り上げる人間性豊かな子どもの育成」を目指して、「質の高い学力・たくましい身体の育成と教育環境の充実」「夢や志、豊かな感性を持った人づくり」「地域と一体となった学校づくり」を推進する。</p>		23,051	諸	家庭学習用通信費負担金		516			
			総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
事業 概要	<p>■学習における基礎・基本の徹底に向けた対応 2,144千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○算数学び定着サポーターの配置 1,944千円 小学校算数科における3・4年生児童への学力定着と向上を図る</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの授業づくりの推進 200千円 地域資源を活用した課題解決型学習の実践的研究(府中小「絆の作り手育成プログラム」)</li> </ul> <p>■論理的思考力や表現力の育成 1,760千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○コミュニケーション教育の推進 581千円【新規】 演劇的活動等の表現手法を取入れたワークショップなどを通して、これからの時代に求められるコミュニケーション能力の基礎を培い、非認知能力を育成・向上</li> <li>○語学力向上に向けた取り組み 1,179千円 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校におけるオールイングリッシュ授業の導入(ゼロ予算)【新規】 英語の「聞くこと」「話すこと」を中心に学び、英語教育の充実を図ること</li> <li>・「日本漢字能力検定」の活用(小4、小6での全員受検に係る検定料全額補助)</li> <li>・「英語検定」の活用(中1、中3での全員受検に係る検定料全額補助)</li> </ul> </li> </ul> <p>■ICTを活用した学習意欲の喚起、個別最適な学びと協働的な学びの実現 2,522千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AIドリル等を活用した個別最適な学びやプログラミング教育等を実施</li> </ul> <p>■教育フォーラムの開催 7千円</p> <p>「小中一貫教育」や「コミュニティ・スクール」など宮津市の教育について保護者や地域の方とともに考える</p>		テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり						
			施策分野	学校教育						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画			R2~R6			
			R2	宮津市教育大綱・教育基本振興計画			R3~R7			
			R2	宮津市学力向上プラン			R3~R7			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間を見通した連続性・一貫性がある教育課程の展開と保幼小中高の連携強化</li> <li>・質の高い学力の充実・向上(基礎・基本の徹底、論理的思考力や表現力の育成、ICTを活用した学習意欲の喚起と個別最適化された学びの実現)</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画目標数値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査における教科に関する調査(算数・数学)の平均正答率 R元:小6 62.0、中3 62.0 →R7:全国平均・京都府平均以上</li> </ul>						
			担当部署	教育委員会事務局 学校教育課 学校教育係			45-1641		23	



事業名	農山漁村コミュニティ活性化事業	充実	予算額	財 源 内 訳						
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源		
背景・経緯	H24 農業の担い手不足等の地域課題を解決するために「人・農地プラン」策定を開始 H29 農地利用最適化推進委員が配置され、プラン策定を推進 R元 人・農地プラン実質化の取組開始(アンケートや地図を用いた話合いの推進) R4.5 基盤法等の改正法が成立(「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化) R5.4~ 「地域計画」策定の取組開始(法施行(R7.4)前2年間で作成が必要)		2,705		400			2,305		
	(参考)前年度予算額		特定財源の内訳							
	2,676		府	農業振興事業費補助金		400				
目的・目標	農業の担い手が減少する中、生産者が効率的に営農できるよう、将来目指すべき姿を明確化する「地域計画」を集落ごとに策定し、農地の集積・集約化を進める。		(参考)前々年度決算額							
			3,779							
事業概要	<p>■地域計画策定に向けた集落支援員の配置 2,505千円 農業経営基盤強化促進法の改正に伴い、これまでの人・農地プランは「地域計画」として法定化され、「目標地図」の作成等が義務付けられたため、地域内での話合いや農地の利用調整などを支援する集落支援員を配置し、地域計画の策定を行う。</p> <p>■新たな担い手受入体制構築支援補助金 200千円 集落における担い手不足が深刻となる中、地域での新たな担い手の確保について話合いや情報発信、世話人の配置など受入体制の構築へ向けた取組を支援する。</p> <p>◆取組例 ・農村の紹介書(集落概要、小作料、共同利用機械の有無、利用可能な農地など、新規就農者を受け入れるための情報を取りまとめたもの)の作成 ・就農者の相談に乗る世話人の配置や受入の取組 など</p> <p>◆補助率 ・定額(1地域当たり上限50千円)</p> <p>■半農半Xインターンシップの実施 2,000千円【再掲】 新たな担い手の受入体制を構築する地域で農業体験や地域交流プログラムを実施し、交流人口の創出と担い手候補の呼び込みを行う。 ・農業実習、地域との交流、移住者との交流など ※「持続可能な観光地づくり事業」に予算計上</p>		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト						
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり						
			施策分野	農林水産業振興						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			期待される効果等	<p>・担い手への農地の集積・集約化 ・遊休農地の発生防止・解消 ・新規参入の促進 ・農村集落の活性化</p> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・耕作放棄地の面積 R元:426ha → R7:426ha ・新規就業者数(農業・漁業) R元:2人/年 → R7:3人/年</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>2 額をゼロに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 パートナシップで目標を達成しよう</p>  </div> </div>						
			担当部署	産業経済部 農林水産課 農林水産係 農業委員会事務局		45-1626 45-1645	26			

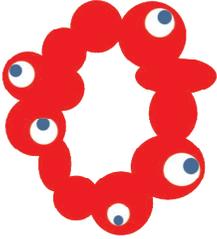
事業名	高校・大学・地域連携推進事業	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>H28～：次世代人材育成事業の展開 (市内の高校と連携し、生徒がしごと等に対して向き合う講座などを支援し、将来のみやづを担う人材育成を図るもの)</li> <li>R元～：大学等地域活動連携推進事業(大学・地域連携プロジェクト)の展開 (大学からの提案による地域団体と協働事業を支援し、宮津市域での大学のフィールドワーク等の受入れを強化して、地域課題の解決を図るもの)</li> <li>R4.5:「前尾記念クロスワークセンターMIYAZU」の開設(施設内に京都府立大学がサテライトオフィスを設置、R4.9月補正予算に基づき京都府立大学との連携に向けた調整や大学生等の滞在拠点づくりを実施)</li> </ul>		2,100	1,050		1,000	50		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			1,150	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 子ども若者未来応援基金繰入金	1,050	1,000		
			(参考)前々年度決算額						
			913						
目的・目標	市内の高校・事業者と大学との連携を強化し、本市への人の流れをつくり、市内の高校の魅力向上につなげるとともに、将来のみやづを担う人材育成を図る。また、大学との連携による地域の課題解決に向けた取組を推進する。		総計重要プロジェクト	若者が住みたいまちづくりプロジェクト					
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
事業概要	<p>■MIYAZUクロスキャンパス事業の展開 1,100千円</p> <p>○市内高校と事業者等との連携による課題解決型の人材育成 100千円 市内の高校と連携し、生徒が地域の課題解決や仕事等に対して向き合う講座などを支援することで、次代を担う人材を育成するもの</p> <p>○京都府立大学と市内高校との連携強化 1,000千円【新規】 前尾記念クロスワークセンターMIYAZUに入居する京都府立大学と市内高校との連携による交流創出や大学を体感できる取組を推進するもの</p> <p>【実施内容(案)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>大学生による市内でのフィールドワーク等の実施</li> <li>高校生へのオープンゼミの実施 など</li> </ul>		施策分野	関係人口創出・拡大 市民協働					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係人口の創出・拡大と若者の定着促進による地域の担い手の確保及び地域の活性化</li> <li>市内の高校の魅力向上と次世代の人材育成</li> </ul> <p>【第7次宮津市総合計画数値目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域や市内事業者等の課題解決に取り組む市外人材数 R元 44人 → R7 延べ300人</li> <li>地域おこし協力隊や大学等と連携し課題解決に取り組む地域・団体数 R元 4地域・団体 → R7 8地域・団体 (3大学) (5大学) (-) (3地域おこし協力隊)</li> </ul>				 <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	
			担当部署	企画財政部 企画課 定住・地域振興係	45-1607	28			



京都府立大学が入居している前尾記念クロスワークセンターMIYAZU

■大学・地域連携プロジェクト事業の展開 1,000千円  
大学と地域との連携による課題解決に向けた取組活動への支援

事業名	歴史文化を活かした観光誘客推進事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H19.12:「天橋立を世界遺産にする会」設立 H29.4:丹後ちりめん構成文化財が日本遺産認定 H30.5:北前船構成文化財が日本遺産認定 R元.5:西国三十三所札所(成相寺)が日本遺産認定		4,850	2,425		2,400	25	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	本市が有する豊富な歴史文化資源を活かした観光誘客を推進するとともに、交流拠点の整備による文化交流を振興し、地域経済の活性化に資する観光まちづくりを進めるもの。		7,700	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 まちづくり基金繰入金	2,425 2,400		
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	歴史文化を活かした観光まちづくりの実現に向け、文化財等の歴史文化資源を観光活用するための仕組みづくりを進める。  <b>■最先端技術を活用した歴史文化資源の発信 3,500千円</b> 令和3~4年度に制作した伝統芸能や歴史文化資源等を紹介する高画質映像(4K動画)を活用し、YoutubeやInstagram、TikTok向けの投稿動画を作成、国内外へ情報発信することにより、観光誘客を図る。 《再編集予定の映像》 ・Youtube及びInstagram等の広告向け動画(30秒程度) ・デジタルサイネージ等での公開向け動画(1分程度)  <b>■文化財等の観光コンテンツ化による賑わいづくり 1,000千円</b> 重要文化財「旧三上家住宅」を市民や観光客の交流拠点として整備し、市民文化活動の活性化や観光コンテンツ化を図る。 ・建物、庭園のライトアップと夜間イベントの開催 ・文化観光コンテンツ開発(新たな体験メニューの造成など)  <b>■北前船文化を活かしたまちづくり 350千円</b> 日本遺産「北前船」を活用した観光誘客を進めるため、観光コンテンツ化を図るとともに、市民意識の醸成を図り、北前船文化を活かしたまちづくりを推進する。 ・北前船文化を感じられるスポットの確立(旧三上家住宅を活用) ・まちあるきマップの更新及びガイド育成		8,907	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			総計重要プロジェクト					
事業概要			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	観光振興、文化財保存・活用				
事業概要			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	宮津市観光戦略			R3~R7	
事業概要			期待される効果等	【第7次宮津市総合計画数値目標】				
				・観光交流人口 R元:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・旧三上家住宅観光客数 R元:3,963人⇒R7:6,000人				
事業概要			担当部署	産業経済部商工観光課 観光係 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係		45-1625 45-1642	31	

事業名	大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業	新規	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背景・経緯	・R4.12 : 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会 設置 (京都府) →市長が検討会委員として参画 (京都府市長会 経済部会長として) ・R5.4以降: 大阪・関西万博きょうと万博推進委員会 設置予定 (京都府) ・R7.4~10: 大阪・関西万博の開催予定		3,000	1,500			1,500	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	令和7年度に開催される「大阪・関西万博」については、本市が誇る産業や文化、観光資源などの魅力を国内外に強くアピールし、地域の活性化につながる絶好の機会であることから、市内外に向けて情報発信を強化するとともに機運醸成を進め、観光誘客や地域活性化を推進するもの。		-	国 繰入	デジタル田園都市国家構想交付金 まちづくり基金繰入金		1,500 1,500	
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	<b>■ 大阪・関西万博に向けた観光誘客の推進 3,000千円</b> 大阪・関西万博の開催年(令和7年度)をターゲットイヤーと位置づけるとともに、「多様な参加者が主体となって理想の未来社会とともに作り上げていく」という万博の趣旨に合わせ、市民の機運醸成等を図りながら、国内外からの観光誘客に向けた様々な取組を推進するとともに、本市の魅力と取組を発信する。 <b>【取組内容(予定)】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・京都府と足並みをそろえた国内外への情報発信</li> <li>・市民の機運醸成に向けた取組み</li> <li>・天橋立砂浜ライトアップの実施(継続)</li> <li>・成相寺青もみじライトアップの実施(新規)</li> </ul>	 <p>OSAKA, KANSAI, JAPAN <b>EXPO</b> 2025</p>	総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	観光振興				
			<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>					
			R3	宮津市観光戦略			R3~R7	
			期待される効果等	<b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流人口 R元:321万人⇒R7:350万人</li> <li>・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人</li> <li>・観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円</li> <li>・観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:80.0万人</li> </ul>				
			担当部署	産業経済部 商工観光課 観光係		45-1625		<b>32</b>

**8** 働かざるも  
経済成長も



**17** パートナースHIPで  
目標を達成しよう



事業名	持続可能な観光地域づくり事業	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H28.5:SDGs推進本部設置(本部長 総理大臣)、SDGs実施指針策定(12月) H30.6:「持続可能な観光推進本部」を設置(観光庁) R2.6:「日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)」策定(観光庁) R3.5:宮津市SDGs推進本部(庁内組織。市長が本部長)の設置 R3.5:「宮津市観光戦略」の策定に向けた地域観光経済循環分析事業の実施 R4.3:「宮津市観光戦略」の策定		34,718	7,120	4,500		14,500	8,598
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	宮津市観光戦略に基づき、「満足度の向上」「観光消費額の拡大」に向けた観光地域づくりを進めるとともに、広域自治体連携による持続可能な観光モデル市町村の形成を図り、世界から選ばれる観光地を目指す。		30,850	国	デジタル田園都市国家構想交付金			7,120
			(参考)前々年度決算額	府	きょうと地域連携交付金			4,500
事業概要	<b>■持続可能な観光地域づくり事業 12,500千円</b> <b>○地域プログラム</b> 持続可能な観光地域づくりに向け、対象区域にて、地域連携型観光コンテンツの造成等の取組みを行う。 <対象区域> ・上宮津地区(継続) ・府中地区(継続) ・由良地区(継続) ・日置、世屋、養老地区(新規) <事業内容> ・新たな観光ルートの構築、観光コンテンツ等の企画、立案、商品化、販促支援 ・半農半Xインターンシップ(農業体験プログラム)の実施 <b>○共通プログラム</b> 広域自治体(岩手県釜石市ほか)で構成する日本「持続可能な観光」地域協議会に参画し、世界から選ばれる観光地の実現に向けた人材育成や観光SDGsに関する国際認証の取得に取組む。 <b>■天橋立周辺渋滞対策及び水上オートバイ対策 3,020千円</b> 交通事業者と連携した渋滞緩和策や天橋立海面利用安全対策協議会への支援 <b>■地域おこし協力隊の配置による魅力的な滞在コンテンツの造成 10,000千円</b> 天橋立アクティビティセンターに地域おこし協力隊2名を配置し、魅力的な滞在コンテンツの開発、商品化を進め、高付加価値かつ高単価な滞在型観光に繋げる。 <b>■観光戦略の推進に向けた外部人材の活用(3名) 9,198千円</b> 外部人材の活用により、観光戦略に基づく観光地の再生・観光サービスの高付加価値化を図るとともに、地域連携型観光コンテンツの造成を図る。		29,200	繰入	まちづくり基金繰入金			14,500
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
事業概要				テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり			
				施策分野	観光振興			
				【宮津市総合計画以外の計画】				
				R3	宮津市観光戦略		R3~R7	
事業概要				期待される効果等	<b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・観光交流人口 R元:321万人⇒R7:350万人 ・外国人観光宿泊客数 R元:5.4万人⇒R7:10.0万人 ・観光消費額 R元:109億円⇒R7:125億円 ・観光宿泊客数 R元:64.9万人⇒R7:80.0万人			
					8 働きがいの経済活力も 12 つくる責任 つかう責任 17 パートナースHIPで目標を達成しよう			
担当部署				産業経済部 商工観光課 観光係 農林水産課 農林水産係	45-1625 45-1626	<b>33</b>		

事業名	新規	予算額	財源内訳					
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
事業名 <b>美食のまちづくり推進事業</b>		4,500		2,250		2,200	50	
		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
背景 経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>H25.2:学校法人大和学園・宮津市連携協定を締結 (連携事項:人材育成 観光振興 料理、土産物開発 食育の推進等)</li> <li>R 4.5:学校法人大和学園が前尾記念クロスワークセンターMIYAZUへの入居 (市民、市内企業及びクロスワークセンター入居企業等との連携促進)</li> </ul>	—	府 繰入	丹後半島振興広域連携促進事業費補助金 まちづくり基金繰入金		2,250 2,200		
		(参考)前々年度決算額						
目的 目標	宮津市観光戦略に基づき「食(食材or料理)の質向上と高付加価値化による飲食率・宿泊率の向上」を図るとともに、食の魅力を観光業のみならず農林水産業、製造業等の幅広い分野を支える大きな産業につなげていく“美食のまちづくり”に向けた取組みを進める。	—						
		(参考)前々年度決算額						
事業 概要	<p><b>■宮津の食を中心とした誘客推進事業 3,500千円</b> 地域の食の魅力を磨き上げ、観光誘客につなげるための取組みを実施するもの <b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>〔継続〕宮津ならではの食材を活用した看板メニュー・地元特産品の開発</li> <li>〔継続〕地元企業・高校等と連携した学生レストランの運営</li> <li>〔新規〕旅行学科の学生によるフィールドワークでの魅力掘り起こしと宮津の食文化に触れる「ガストロノミーツーリズム」商品の開発・販売</li> </ul> <p>*その他の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地元観光事業者・飲食店等との連携により、開発したメニュー等を扱った食をテーマとした取組みを展開し、美食のまちづくりのPRと効果検証等を行う。</li> </ul> <p><b>■宮津の食・食文化の普及啓発事業 1,000千円</b> 地域の伝統的な食や食文化、またそれを構成している食材や調理方法などを継承するとともに、さらなる磨き上げを実施することで、食の魅力あふれるまちづくりを推進し、地域の魅力向上を図るもの <b>【取組内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・〔継続〕地元農林水産物を活用した新しい食べ方、レシピの提示</li> <li>・〔継続〕アドバイザー派遣事業(指導を希望する事業者に講師を派遣)</li> <li>・〔継続〕とり貝昼処、地産地消推進店のPR(ゼロ予算)</li> </ul>	総計重要 プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト					
		テーマ別 戦略	地域経済力が高まるまちづくり					
		施策分野	商工業振興					
		<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>						
			R3	宮津市観光戦略			R3~R7	
		期待 される 効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人あたり観光消費額の向上</li> <li>・地元農林水産物消費量の増</li> </ul> <p><b>【第7次総合計画数値目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光交流人口 R元:321万人→R7:350万人</li> <li>・観光宿泊者数 R元:64.9万人→R7:80.0万人</li> <li>・外国人観光宿泊客数 R1:5.4万人→R7:10.0万人</li> <li>・観光消費額 R元:109億円→R7:125億円</li> </ul> <p><b>【観光戦略KPI】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・顧客満足度(大変満足) R3:33%→R7:40%</li> </ul>  					
		担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係			45-1663	35	

事業名	魅力ある商いづくり事業	充実	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H24 :特産品等振興事業補助金を創設</li> <li>・H26 :宮津市魅力ある商いのまちづくり支援事業補助金を創設</li> <li>・R02.12:信金中央金庫創立70周年記念事業『地域創生推進スキーム「SCBふるさと応援団」』の寄附対象事業として選定</li> </ul>		13,963	7,750			3,350	2,863
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目 的 目 標	新規起業や事業承継などの創業等の取組みや、市内事業者の物価高騰等に対応した事業継続等の取組みについて、関係機関と連携を図りながら支援することで、地域経済の活性化を進める。		22,606	国	デジタル田園都市国家構想交付金			5,750
			(参考)前々年度決算額	繰入	地方創生臨時交付金			2,000
事 業 要 概	<p>■宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト事業【継続(R3~5)】 6,600千円</p> 地元金融機関、商工会議所、専門家等と連携を図りながら、地域の宝となるヒトやモノを育み、地域経済の活性化と活力の創出を目指す。 <p>①未来天橋塾の開催 1,600千円 次代を担う若手人材を育成するセミナー、ワークショップを実施</p> <p>②チャレンジおうえん補助金 5,000千円 創業、第二創業、新たなものづくり等にチャレンジする取組を支援 ・補助率1/2 上限250万円</p> <p>■創業等支援事業補助金【継続】 5,000千円 創業、第二創業を行う者に対し、準備経費(施設等整備費、広告費等)を支援 ・補助率1/2 上限50万円 ※空き家等を活用した創業等の場合は上限150万円に引上げ</p> <p>■物価高騰事業者緊急支援補助金 2,000千円【新規】 物価高騰等による経済環境の変化の中で、事業継続・売上向上等を目指した改革等に取組む市内事業者の活動を支援する。 (1)DX対応に係る事業:システム導入(業務効率化)、インボイス・キャッシュレス対応等 ※PCやタブレット対象外 (2)副業・兼業人材の活用に係る事業:都市部人材の報酬、謝金、委託料等 (3)地元農林水産物の商品化に係る事業:試作に係る原材料費や委託料、外装デザイン費等 ・補助率1/2 上限10万円</p> <p>■商店街等活性化事業支援 300千円【新規】 宮津商業協同組合が行う販促等商店街活性化事業に対する支援</p> <p>■事務費 63千円 職員旅費 創業関係研修等</p>		19,176					
			総計重要プロジェクト	宮津の宝を育むチャレンジプロジェクト				
事 業 要 概			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
			施策分野	商工業振興				
事 業 要 概			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	創業・第二創業等に新たに取り組む事業者の拡大による地域経済の活性化 ・新たな土産物開発や新規出店による観光消費額の拡大 ・地元産品のブランド化、高付加価値化 【第7次宮津市総合計画数値目標】 ・創業・第二創業件数 50件/5年 ・製造品出荷額等 R元:95.5億円→R6:100億円 ・小売業販売額 H28:185.4億円→R8:190億円				
事 業 要 概			担当部署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663		36・40

事業名	新規	予算額	財源内訳				
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
<b>物価高騰下での給食費高騰対策支援 (給食費高騰対策支援事業、学校給食運営事業、保育所運営事業)</b>		3,983	3,983				0
	(参考)前年度予算額		特定財源の内訳				
	—	国	地方創生臨時交付金				3,983
	(参考)前々年度決算額	—					
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R4.3: 京都府学校給食会の一般物資高騰率が8.6%</li> <li>R4.4: 国が「コロナ禍における「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」」を策定</li> <li>R4.4~: 全国消費者物価指数(食料)が前年同月と比べ毎月上昇 4月:4.0% 5月:4.1% 6月:3.7% 7月:4.4% 8月:4.4% 9月:4.7% 10月:6.2% 11月:6.9% 12月:7.0% ※相次ぐ食品価格の値上げ</li> <li>R4.8: 2学期以降の給食費高騰支援の実施</li> <li>R4.12: 新米価格の上昇 宮津市学校給食委員会食材調達部会を開催し、令和5年度からの学校給食費の値上げを審議・承認</li> </ul>						
目的・目標	急激な物価高騰により給食食材が高騰する中、令和5年度から値上げを行う小中学校、就学前施設の給食費について、保護者負担の増加を軽減するため、給食費の物価高騰に係る増額分の支援を行う。		総計重要プロジェクト	—			
			テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり			
事業概要	<b>■私立幼稚園、民間保育園、認定こども園、自校給食実施校への支援 1,223千円</b> ○対象施設: 9施設 ○支援内容: 物価高騰による給食費の増額改定を実施した施設の園児、児童分を支援 ・保育園給食: 民間保育園・認定こども園 500円/月 ・学校給食: 私立幼稚園12円/食 自校給食実施校 15円/食 ○対象期間: 令和5年4月~令和6年3月 ○参考: 給食費の状況(民間保育園及び認定こども園の場合) (現行) (物価高騰による給食費値上げ必要額) 6,000円/月 → 6,500円/月 <b>(+500円) ※今回はこれを支援</b>		施策分野	子育て支援			
	<b>■公立保育所、センター方式給食の公立幼稚園・小・中学校 2,760千円</b> ○対象施設: 10施設 ○支援内容: 給食費の増額改定における、物価高騰による部分を支援 ※給食費の実質の徴収額を抑制し支援する ○参考: 給食費の状況 (現行) (料金改正後) (物価高騰の影響) (物価高騰以外※) ・保育所 5,000円/月 → 6,500円/月 <b>+500円/月</b> → 1,000円/月 ・幼稚園 180円/食 → 195円/食 <b>+12円/食</b> → +3円/食 ・小学校 250円/食 → 270円/食 <b>+15円/食</b> → +5円/食 ・中学校 290円/食 → 315円/食 <b>+20円/食</b> → +5円/食 ※今回はこれを支援		【宮津市総合計画以外の計画】				
			R元	第2期宮津市子ども・子育て支援事業計画		R2~R6	
				・物価高騰等により値上げが想定される就学前施設の給食費相当を支援することにより、保護者負担の増加を抑制し、安心して給食が提供できる環境を維持する。 ・急激な物価高騰の影響下にあっても、学校給食において現行の保護者負担額で、必要な栄養価や量などの質を保った学校給食を維持することができる。			
			期待される効果等				
※物価高騰以外…食材の購入と給食費との収支の差の一部を公費で賄っていた部分を精査し、保護者等負担分として転嫁する部分		担当部署	社会福祉課 学校教育課	子育て支援係 学校給食・施設係	45-1621 45-1662	<b>41</b>	

事業名	持続可能な環境づくり推進事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言</li> <li>R3.10: 「気候非常事態」宣言 (与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定</li> </ul>		53,080	52,800	260			20
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	環境基本計画に基づき、再生可能エネルギーの利用促進及び発電施設の整備促進など、脱炭素社会の構築に向けた取組を進め、環境負荷の小さなまちを目指す。		80,380	国	エネルギー構造高度化・転換理解促進事業費補助金			52,800
			(参考)前々年度決算額	府	家庭向け自立型再生可能エネルギー導入事業費補助金			260
			19,516					
事 業 概 要	<p><b>■再生可能エネルギーの普及・活用に向けた実証・調査等 52,800千円</b> 再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくりに向けた実証実験、再生可能エネルギーの公共施設での利活用等に向けた調査・設計を行う。</p> <p>○再生可能エネルギーを活用したエコ観光地づくり (再生可能エネルギーを活用したグリーンスローモビリティによる観光客や住民の移動手段への活用に向けた運行実証など) [実証エリア] 府中地区 ※グリーンスローモビリティ:時速20km未満で公道を走る4人乗り以上の公共交通</p> <p>○温泉熱等を活用した観光地づくり (温泉熱利活用の事業化に向けた候補施設選定及び設備設置に係る現地調査)</p> <p>○公共施設への再生可能エネルギーの導入と脱炭素社会の理解促進 (建物の屋根又は屋上への太陽光発電設備の導入可能性調査、基本設計) [対象施設] 小・中学校、公民館等 13施設</p> <p><b>【参考】</b> ○再生可能エネルギーを活用した企業誘致による経済活性化【R4予算繰越予定】 (水源調査及び既存水源の活用調査)</p> <p><b>■再生可能エネルギーの導入支援 280千円</b> 住宅用太陽光発電システム・蓄電池同時導入支援 140千円×2基</p>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	環境				
			<b>【宮津市総合計画以外の計画】</b>					
			R3.10	宮津市環境基本計画				R3~R12
			期待される効果等	脱炭素社会の構築に向けた市民、事業者の理解の促進 <b>【第7次宮津市総合計画数値目標】</b> ・二酸化炭素排出量(年間) H25:135,000t-co2 → R7:95,000t-co2 ・市施設の公共調達における再生可能エネルギー電力の割合 R元:16.0% → R7:60.0%  [参考] 太陽光発電システム 1基(4kw): 約1.7t-CO2/年の削減				
								
			担当部署	市民環境部市民環境課 環境衛生係 企画財政部企画課 企画政策係 産業経済部商工観光課 商工係・観光係			45-1617 45-1664 45-1663、45-1625	



事業名	ごみの減量・資源化促進事業 ～プラスチック等資源循環の促進等に関する条例「取組の具現化」～	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2. 6: 「2050年までに二酸化炭素排出量の実質ゼロ」を宣言</li> <li>・R3. 10: 「気候非常事態」宣言 (与謝野町との共同宣言) 宮津市環境基本計画策定</li> <li>・R5. 1: 宮津市プラスチック等資源循環の促進等に関する条例の施行</li> </ul>		5,024		2,000		2,000	1,024
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	環境基本計画及びプラスチック等資源循環の促進等に関する条例に基づき、廃棄物等の排出抑制や循環資源の再資源化などの促進を図り、脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会の実現を目指す。		3,738	府	きょうと地域連携交付金			2,000
			(参考)前々年度決算額	繰入	自然環境保全基金繰入金			2,000
事業概要	<p>■宮津市廃棄物減量等推進審議会の開催 1,024千円 廃棄物減量等推進審議会を開催し、資源循環の促進等に関する「基本指針」を策定する。</p> <p>■ごみの減量化・資源化の実証と環境教育の推進 4,000千円【新規】 資源循環の促進に向けた具体的取組を基本指針で策定するため、ごみの減量化・資源化による実証事業を行うとともに、環境学習を推進する。</p> <p>【実証事業等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○観光旅行者等に向けた循環資源の再資源化意識の醸成実証事業</li> <li>○観光関連事業者等を対象とした事業系可燃ごみ(生ごみ)の減量化・資源化調査及び実証事業</li> <li>○回収拠点の設置による資源ごみ回収システム構築実証事業</li> <li>○子どもを対象とした環境学習の実施</li> </ul>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
事業概要			施策分野	環境				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
事業概要			R3	宮津市環境基本計画				R3～R12
			期待される効果等	<p>・脱炭素社会、循環型社会及び自然共生社会が実現し、将来へ良好な環境を引き継ぐ。</p> <p>ごみの再資源化率【第7次総合計画KPI】 R元(基準)19.4% → R7(目標)25.0%</p> <p>一人1日あたりごみ排出量【環境基本計画KPI】 H30(基準)972g → R12(目標)875g</p>				
事業概要			   					
			担当部署	市民環境部 市民環境課 環境衛生係				45-1617

事業名	行政DXの推進 (デジタルトランスフォーメーション推進事業、防災活動事業)	充実	予算額	財源内訳						
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源		
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R02.12:デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針(閣議決定)</li> <li>・R02.12:デジタル・ガバメント実行計画(閣議決定)</li> <li>・R02.12:自治体DX推進計画(総務省)</li> <li>・R03.06:宮津市DX推進本部設置</li> <li>・R04.12:宮津市DX推進計画策定</li> </ul>		26,175		6,250		11,100	8,825		
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳						
			29,278	府	きょうと地域連携交付金			6,250		
				諸	デジタル基盤改革支援補助金			11,100		
			(参考)前々年度決算額							
			—							
目的・目標	デジタル技術の活用により、市民生活の利便性の向上や地域課題解決につなげるとともに、市役所業務の効率化・高度化を図るもの。		総計重要プロジェクト	—						
			テーマ別戦略	—						
事業概要	<p>■推進体制の強化 10,111千円</p> <p>○外部デジタル人材の活用(CIO補佐官1名、常勤エンジニア1名)</p> <p>宮津市DX推進計画の実施に向け、専門人材を外部から招聘し、内部体制を充実強化することにより、実効性の高いデジタルサービスの展開につなげるもの。</p> <p>■市役所窓口サービス等の高度化・向上 1,640千円</p> <p>○公式LINE充実による行政情報の発信力強化</p> <p>市民が必要としている情報をカテゴリに分けて配信する仕組みを導入することで必要な情報を必要な人に届けられる利便性の高い情報発信を構築するもの</p> <p>【活用の想定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より分かりやすい防災情報を多面的に配信(防災情報発信の重層化)</li> <li>・行政サービス毎の情報発信(例:子育て、福祉、ごみなど)</li> <li>・LINEを活用した各種相談への対応 など</li> </ul> <p>■市役所内部業務の効率化・高度化 14,424千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ビジネスチャットの導入による業務効率化</li> <li>○自治体情報システムの国標準化に向けた対応</li> <li>○大量印刷物の外部印刷化による業務効率化 など</li> </ul> <p>※行政デジタルトランスフォーメーション(DX)とは</p> <p>デジタル技術を活用して、住民によってより使いやすく、より便利な行政サービスを提供するとともに業務効率化により新たな価値を創造していくもの。</p>		施策分野	—						
			【宮津市総合計画以外の計画】							
			R2	第2期行財政運営指針			R3~R12			
			R4	宮津市DX推進計画			R4~R7			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「行かなくてもいい市役所」「書かない窓口」の実現</li> <li>・内部業務効率化による市役所の新たな価値の創造</li> </ul>						
				 						
			担当部署	総務部 総務課 情報推進係		45-1602		48・133		
				総務部 消防防災課 消防防災係		45-1605				

事業名	充実	予算額	財源内訳					
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
事業名 庁舎のあり方検討の推進 (庁舎基本構想等検討委員会の設置、庁舎整備基金の造成)		100,507					100,507	
		(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
背景・経緯	R02.09: 宮津市公共施設再編方針において「庁舎について概ね5年以内の実施を目標に具体的な対応方針を早期に策定する。」と定める R04.02: 庁内検討グループにおいて、庁舎のあり方について基礎的な研究。 R04.07: 市役所庁舎のあり方検討に関する市民アンケートを実施。 R04.09: 未来の庁舎を考える市民会議を開催。	500						
		(参考)前々年度決算額						
目的・目標	市役所庁舎のあり方について、基礎的な研究、市民アンケート、市民会議の提案を踏まえ、基本構想等の検討に着手するとともに整備経費の積立を開始する。	—						
		総計重要プロジェクト	—					
事業概要	<p><b>■庁舎基本構想等検討委員会の設置 500千円</b> 老朽化が進む庁舎整備に向け、有識者や市民意見を踏まえた基本構想の策定を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○委員                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・有識者、市民代表、福祉関係者、経済関係者など7名程度</li> </ul> </li> <li>○主な検討事項                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・整備コンセプト、整備パターン比較検討など</li> </ul> </li> <li>○想定スケジュール                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回会議6月(諮問、R3・R4の取組報告等)</li> <li>・第2回会議9月(整備コンセプトの検討) ～市民意向の聴取～</li> <li>・第3回会議2月(整備コンセプト等のまとめ)</li> </ul> </li> </ul> <p><b>■庁舎整備基金の造成 100,007千円</b> 国府補助金等の財源が見込めない中、起債発行を可能な限り抑制し、将来世代の負担軽減を図るため、財源確保のための基金造成を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○造成額                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度当初予算: 30,007千円(原資30,000千円、利子7千円)</li> <li>・令和4年度3月補正予算: 70,000千円</li> </ul> </li> </ul>	テーマ別戦略	住みたい、住み続けたいまちづくり					
		施策分野	—					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R2	宮津市公共施設再編方針書				R2～	
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所庁舎の基本構想立案への市民意見の反映</li> <li>・庁舎整備に向けた安定財源の確保</li> </ul>					
		担当部署	総務部 総務課 情報推進係		45-1602		51・52	



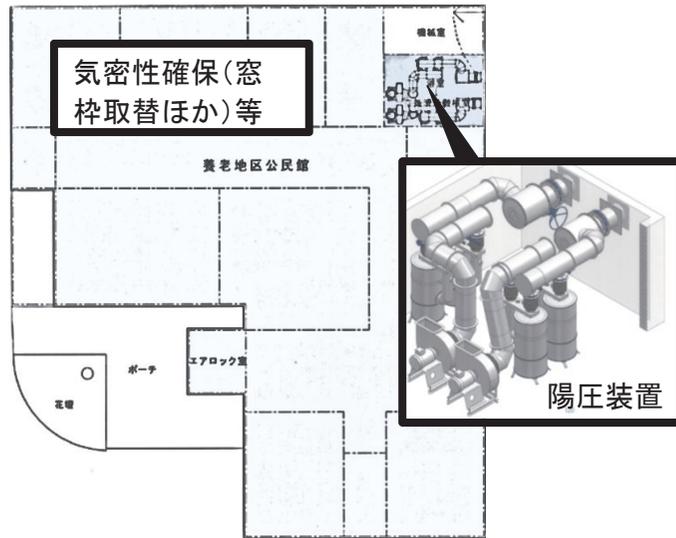
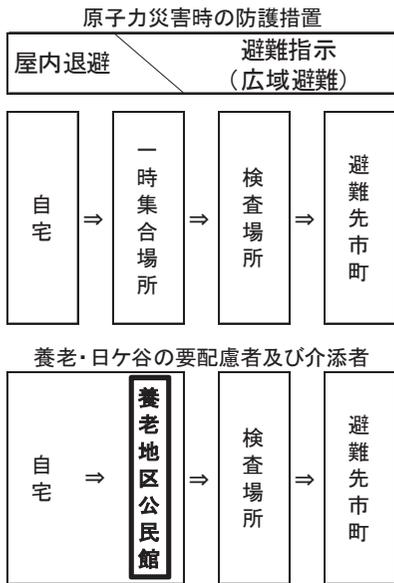
R4未来の庁舎を考える市民会議の様子

事業名	立体駐車場長寿命化対策 (まちなか地域振興拠点施設管理運営事業)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 ・ 経 緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H8 : 浜町立体駐車場の竣工</li> <li>・H26 : 浜町立体駐車場の取得 (市営化)</li> <li>・R2 : 立体駐車場の24時間化 (4月)、まちなか地域振興拠点施設として再編し、立体駐車場を除く施設を指定管理者による運営開始 (8月)</li> <li>・R4 : 長寿命化対策のための劣化度調査及び実施設計</li> </ul>		109,000			109,000		0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 ・ 目 標	市内中心部の集客ゾーンである浜町エリアの立体駐車場について、建設時から26年程度経過し劣化が進んでいることから、施設の長寿命化対策を実施し、利用者の安全性の確保と利便性の改善を図るもの。		26,000	市債	過疎対策事業債			109,000
			(参考)前々年度決算額					
事 業 概 要	<p><b>■立体駐車場長寿命化対策工事 109,000千円</b> 平成8年の建設から26年が経過した立体駐車場 (パーキングはままち) について、公共施設マネジメントに基づく長寿命化対策を実施する。</p> <p><b>【R5改修内容】</b> ○外装ルーバー撤去、外壁塗装、屋根屋上の防水補修、懸垂幕昇降装置の設置等</p> <p><b>【参考】</b> ○R6以降の主な改修 (予定) : 場内床や内壁の補修、区画線引き、防火シャッター、照明設備、避難誘導灯、自動火災報知器、エレベーター改修等</p>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	地域経済力が高まるまちづくり				
期 待 さ れ る 効 果 等	 		施策分野	商工業振興				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
担 当 部 署	産業経済部 商工観光課 商工係		45-1663	53				

事業名	道路新設改良事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	社会資本整備総合交付金等を活用し、生活に密着した道路を計画的に点検・整備する。 ・H25：道路ストック点検実施 ・H30：トンネル定期点検実施（1回目） ・R元～R4：橋梁定期点検実施（2巡目） ・R元.6：未就学児集団移動経路の緊急点検実施 ・R3.10：宮津市通学路等安全推進協議会による通学路の緊急点検及び対策検討会議を実施		128,534	62,920		63,800		1,814
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			108,919	国	道路整備事業費補助金		62,920	
				市債	過疎対策事業債		48,400	
			(参考)前々年度決算額	市債	辺地対策事業債		15,400	
		95,612						
目的・目標	道路・橋りょう等の老朽化が進む中、道路ストック点検、橋梁長寿命化修繕計画及び通学路交通安全プログラムに基づき、施設の計画的な整備・修繕や長寿命化を図り、安全で安心して暮らせる快適な生活環境をつくる。		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
事業概要	<b>■子どもたちの安全・安心を確保する歩行者対策 40,000千円</b> ○通学路安全対策 ・中橋惣線、役場西山線、40,000千円 歩道整備、路肩拡幅 髪屋敷家ノ堂立線		施策分野	社会基盤・防災減災				
	<b>■暮らしの安全・安心を確保するインフラ整備 86,900千円</b> ○橋梁長寿命化対策 ・大雲橋（上司脇線） 66,000千円 橋梁架替（下部工）		【宮津市総合計画以外の計画】					
	○トンネル点検（2回目） ・撥雲洞トンネル（波路上司線） 4,000千円 法定点検		H24	宮津市橋梁長寿命化修繕計画		H24～		
	○法面等対策 ・小田辛皮線 15,000千円 法面对策 ・須津中央線 1,900千円 舗装改良		H26	宮津市通学路等交通安全プログラム		H26～		
	<b>■事務費等 1,634千円</b>							
			期待される効果等	安全・安心・快適に過ごし続けられる暮らしの基盤の向上 ○児童・生徒の安全な通学環境の確保 ○道路利用者の安全確保  [第7次宮津市総合計画目標数値目標] ○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕実施率 R2末:7.1% ⇒ R7:31%				
				 				
		担当部署	建設部 土木管理課 土木係		45-1629	114		

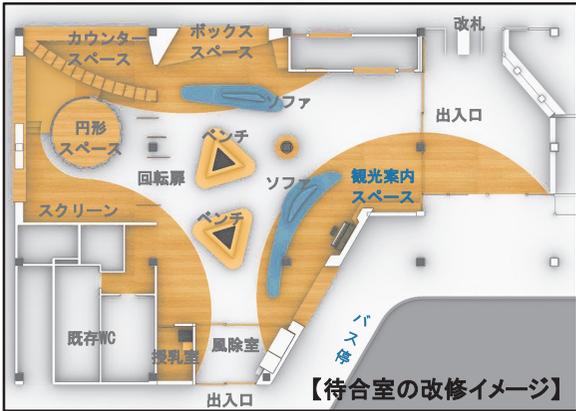
事業名	河川整備事業	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 緯	・滝馬川流域の浸水被害(床上・床下浸水) H16.10台風23号・H25.9台風18号・H29台風18号, 台風21号・H30.7月豪雨, 台風24号 ・R元.12:宮津市国土強靱化地域計画策定 ・R2:滝馬川改修促進協議会と意見交換等を重ね整備計画をまとめる。		79,000			79,000		0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
			105,000	市債	河川整備事業債			79,000
目 的 標	地域住民が安全・安心に生活できるよう、頻発する滝馬川周辺地域の浸水被害の軽減を図るため、宮津市国土強靱化地域計画に基づき、災害に強い河川の整備を進める。		(参考)前々年度決算額					
			60,727					
事 業 要	■滝馬川河川整備 75,000千円 全体計画 L=477m(うち242m完成) R5整備予定区間 L=76.4m 護岸整備   ■札幌川設計委託 4,000千円		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	社会基盤・防災減災				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			R元	宮津市国土強靱化地域計画策定			R元~R5	
			期待される効果等	浸水被害の軽減と、地域住民の安全・安心の確保 [第7次宮津市総合計画数値目標] ・災害による死亡者数 R2:0人⇒R7:0人/5年 ・緊急性の高い河川の整備 R2:0河川⇒R7:1河川				
			担当部署	建設部 土木管理課 土木係			45-1629	118

事業名	原子力災害住民避難体制の構築 (防災施設整備事業)	継続	予算額	財 源 内 訳				
				国庫支出金	府支出金	市 債	その他	一般財源
背 景 経 緯	H29.3 由良地区の特別養護老人ホーム安寿の里に放射線防護施設等整備 R04.3～ 養老地区公民館への放射線防護対策整備に向けた実施設計 (府「原子力災害対策施設等緊急整備事業費補助金」の活用) ※栗田地区の特別養護老人ホーム天橋の郷においても設計[府直執行]		292,000		292,000			0
			(参考)前年度予算額	特 定 財 源 の 内 訳				
目 的 目 標	原子力災害時に養老・日ヶ谷地区が孤立化した場合に備え、一時的に要配慮者が安全に屋内退避できるよう、養老地区公民館を一時屋内退避施設とするもの。 (京都府「原子力災害対策施設等緊急整備事業費補助金」の活用)		—	府	原子力災害対策施設等緊急整備事業費補助金		292,000	
			(参考)前々年度決算額					
事 業 要 概	<b>■放射線防護施設整備事業 292,000千円</b> ○整備概要…非常用発電設備の設置、陽圧化装置の設置、建物の気密性・遮蔽性の確保、屋内退避に係る物資等の整備ほか(一部に長寿命化対策含む) ○想定収容者…養老・日ヶ谷地区の要配慮者とその付き添い介添者220人		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	社会基盤・防災減災				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			H25	宮津市地域防災計画、原子力災害住民避難計画				
			H27	宮津市公共施設等総合管理計画			H27～R7	
			R2	宮津市公共施設再編方針			R2～R12	
			期待される効果等	原子力災害時における要配慮者等の被ばくリスクの軽減				
			担当部署	総務部 消防防災課 消防防災係			45-1605	132



事業名	新規	予算額	財源内訳				
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
<b>背景・経緯</b> ・R3.7: 整備候補地の建設同意及び土質調査同意について地元(獅子自治会)と協議 ・R3.8: 土質調査について地元から同意を得る。 ・R4.9: 施設建設について地元から同意を得る。 ・R4.10: 施設整備に向けた都市計画及び下水道事業計画の変更手続き開始(R5.3完了予定)		66,500	33,250		33,200	50	
	(参考)前年度予算額		特定財源の内訳				
	—	国	社会資本整備総合交付金	33,250			
		市債	過疎対策事業債	33,200			
	(参考)前々年度決算額	13,000					
<b>目的・目標</b> し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定を図るため、新し尿処理施設(下水道希釈投入施設)の早期整備を推進する。	総計重要プロジェクト	—					
	テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり					
<b>事業概要</b> ■新し尿処理施設整備に係る詳細設計 44,100千円(新し尿処理施設整備事業) ○主な業務内容 ・詳細設計: 処理水再利用施設、場内整備等 ○委託先: 地方共同法人 日本下水道事業団 ■現し尿処理施設の一部機能移設に係る詳細設計 22,400千円(し尿処理施設管理運営事業) ○主な業務内容 ・詳細設計: 脱臭設備、用水槽、管理棟等の移設 【参考】 ○今後の予定 ・令和6年度~令和8年度 建設工事 ・令和9年度~ 供用開始 	施策分野	環境					
	【宮津市総合計画以外の計画】						
	H27	京都府宮津湾流域関連宮津市公共下水道計画	H28~R03				
	H29	新し尿処理施設整備計画					
	R元	生活排水処理基本計画	R元~R15				
	期待される効果等	・し尿、浄化槽汚泥の衛生処理機能の安定確保  					
担当部署	建設部 上下水道課 施設整備係 市民環境部 市民環境課 環境衛生係	45-1634 45-1617	144				

事業名	森林管理事業	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	H31.4 森林経営管理法、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行 R元.9 宮津市森林環境譲与税基金条例の施行		6,900				6,900	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
目的・目標	適切に経営管理されていない森林（主に私有・人工林）について、市町村が森林環境譲与税を活用しながら、森林経営管理法に基づき、適切な森林管理（主に間伐）を行い、森林の持つ多面的機能の発揮に資する。		2,100	繰入	森林環境譲与税基金繰入金		6,900	
			(参考)前々年度決算額					
事業概要	<p><b>■森林経営管理権集積計画の策定 6,900千円</b> 適正な森林管理に向けた「経営管理権集積計画」の策定に向け、モデル地区を選定し調査を進め、必要な業務量や課題等の把握を行うもの。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○森林管理が必要となる森林面積                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・約1,400ha（市内全体）</li> </ul> </li> <li>○今回調査を行うモデル地区                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・新宮地区</li> </ul> </li> <li>○調査の内容                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・林業経営の適否判断用基礎資料の収集</li> <li>・森林境界の明確化業務（ドローン空撮、画像解析等）</li> <li>・経営管理権集積計画策定に係る現況把握</li> </ul> </li> </ul>		総計重要プロジェクト	—				
			テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	環境				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	・森林の持つ防災機能や水源涵養機能の維持・増進   				
			担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係		45-1627	149	

事業名	宮津駅開業100年に合わせた長寿命化対策と待合室の利用環境改善 (宮津市ターミナルセンター整備事業)	充実	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H2.3: 宮津駅のターミナルセンターが竣工 (R4年度末で建設から33年が経過)</li> <li>・R3.6: 『宮津市公共施設個別施設計画』策定 ⇒ 宮津ターミナルセンターは今後10年間に優先する長寿命化対策対象に</li> <li>・R4.3: 『宮津市地域公共交通計画』策定 ⇒ 「方策3 待合施設の利用環境整備 (Wi-Fiや多言語表示の整備など)」</li> <li>・R4年度: 宮津駅(ターミナルセンター)の劣化状況調査、待合室改修に向けたワークショップの開催などを経て、整備に係る実施設計を実施</li> <li>・R6.4: 宮津駅が2024年4月12日で開業(1924年4月12日)から100年を迎える</li> </ul> <p>※宮津駅は市民や高校生、観光客等の利用が多く、京都丹後鉄道単独駅では最も利用者が多い本市の玄関駅となっている中で、利便性向上に向けた対応が必要。</p>		69,000	500	9,000		59,500	0
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			7,600	国	デジタル田園都市国家構想交付金			500
			(参考)前々年度決算額	府	駅周辺にぎわいづくり推進事業費補助金			9,000
			4,520	市債	過疎対策事業債			59,500
総計重要プロジェクト	—							
目的・目標	2024年(令和6年)の宮津駅開業100年に合わせ、建設時から30年を越えて劣化が進んでいるターミナルセンターの長寿命化対策と待合室の利用環境改善を一体的に行うことで、駅本体の安全性を高めるとともに、駅利用者の利便性・満足度の向上を図る。		テーマ別戦略	安全・安心に生活でき、環境にやさしいまちづくり				
			施策分野	公共交通				
事業概要	<p>■宮津駅(ターミナルセンター)の長寿命化対策と待合室の利用環境改善 69,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○建物本体の長寿命化対策: 屋根防水、外壁改修など</li> <li>○待合室の利用環境改善: ワークショップやアンケート調査を踏まえた改修</li> </ul> <p><b>&lt;待合室改修のポイント&gt;</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外やホームが見える開放的な空間に</li> <li>・ベンチ等について、配置も含めて工夫を</li> <li>・プラスαの機能(授乳室・おむつ替えスペースの設置、観光案内の充実、無料Wi-Fi設置など)を</li> <li>・バス停とのつながりを大切に</li> </ul> <p>※待合室の改修に向けたワークショップの開催状況など</p> <p>R4.12~R5.2 高校生や子育て世代、関係者等によるワークショップ(全3回)を開催</p> <p>R4.12 利用者等を対象にアンケート調査を実施(256人回答)</p>	 <p>【待合室の改修イメージ】</p>	【宮津市総合計画以外の計画】					
			R3	京都府北部地域連携都市圏公共交通計画	R4~R8			
			R3	宮津市地域公共交通計画	R4~R8			
			期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長寿命化対策の実施による駅の耐用年数の増加及び安全性の向上</li> <li>・待合環境改善による、利用者の満足度向上及び利用促進</li> </ul> <p>[第7次宮津市総合計画数値目標]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通利用者数</li> <li>R元:192万人 ⇒ R7:223.2万人</li> </ul>				
			担当部署	企画財政部 企画課 企画政策係		45-1664	154	

事業名	社会福祉協議会活動推進事業	充実	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>S29.9: 宮津市社会福祉協議会の設立</li> <li>S44.4: 社会福祉法人化</li> <li>S48~: 宮津市福祉センターを管理しつつ地域福祉活動を実施</li> <li>H31.4: 宮津市地域ささえあいセンター(旧保健センター)に移転指定管理者として施設を管理しつつ地域福祉活動を実施</li> </ul>		17,714		8,850		8,000	864	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
目的・目標	<p>宮津市地域ささえあいセンターを拠点として、宮津市社会福祉協議会が行う地域福祉活動を活性化すること並びに運営に必要な支援を行い、経営基盤の安定化を図ることで、市民福祉の向上を図る。</p> <p>また、令和5年9月末の大型ごみの個別収集の廃止に伴い、大型ごみの処分が困難な高齢者等に対し、社協が行う大型ごみ個別収集事業への支援を行う。</p>		16,088	府	きょうと地域連携交付金			8,850	
			(参考)前々年度決算額	繰入	福祉基金繰入金			8,000	
事業概要	<p><b>■社会福祉協議会運営補助金 17,154千円</b> 地域福祉の中核である宮津市社会福祉協議会の運営、地域福祉事業への補助</p> <p>○補助内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費への補助(補助率50%)</li> <li>事業費への補助(補助率70%)</li> </ul> <p>[暮らしのかけ橋事業・サロン運営事業・高齢者見守り支援事業・ボランティア振興事業・外出支援事業(福祉有償運送)]</p> <p><b>■大型ごみ個別収集事業補助金 560千円【新規】</b> 大型ごみの個別収集の廃止に伴い、宮津与謝クリーンセンターへの直接搬入が困難な高齢者等に対し、令和5年10月から社会福祉協議会が行う大型ごみ収集事業への補助</p> <p>○補助内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費(作業員等)</li> <li>事業費(消耗品費・燃料費・保険料等)</li> <li>事務費(通信運搬費・許可手数料等)</li> </ul> <p>○利用条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金(従来の大型ごみ個別収集料金に加え1回当たり300円を徴収)</li> <li>対象者(高齢者・障害者世帯、運搬するための車両がない世帯等)</li> </ul>		17,712						
			総計重要プロジェクト	—					
事業概要	<p><b>■社会福祉協議会運営補助金 17,154千円</b> 地域福祉の中核である宮津市社会福祉協議会の運営、地域福祉事業への補助</p> <p>○補助内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費への補助(補助率50%)</li> <li>事業費への補助(補助率70%)</li> </ul> <p>[暮らしのかけ橋事業・サロン運営事業・高齢者見守り支援事業・ボランティア振興事業・外出支援事業(福祉有償運送)]</p> <p><b>■大型ごみ個別収集事業補助金 560千円【新規】</b> 大型ごみの個別収集の廃止に伴い、宮津与謝クリーンセンターへの直接搬入が困難な高齢者等に対し、令和5年10月から社会福祉協議会が行う大型ごみ収集事業への補助</p> <p>○補助内訳</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人件費(作業員等)</li> <li>事業費(消耗品費・燃料費・保険料等)</li> <li>事務費(通信運搬費・許可手数料等)</li> </ul> <p>○利用条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用料金(従来の大型ごみ個別収集料金に加え1回当たり300円を徴収)</li> <li>対象者(高齢者・障害者世帯、運搬するための車両がない世帯等)</li> </ul>		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
			施策分野	地域福祉					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			H31	宮津市地域福祉計画			H31~R5		
			R3	第9次宮津市高齢者保健福祉計画			R3~R5		
期待される効果等	<p>社会福祉協議会の運営の安定化を図り、社会福祉協議会と連携した地域福祉活動を促進し、市民の福祉の向上を図る。</p> 								
担当部署	健康福祉部 社会福課 地域福祉係			45-1618		160			

事業名	持続可能な地域医療・健康づくり推進事業 (地域医療推進事業)	継続	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3. 3: 宮津市地域医療のあり方検討委員会を設置</li> <li>・R4. 2: 上記委員会から以下の内容を含む提言を受領                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実効性のある包括ケアシステムの構築、健康寿命延伸施策の推進</li> <li>・橋北地域の拠点医療施設に係る整備計画の検討</li> <li>・オンライン診療など新たな医療提供の検討</li> </ul> </li> <li>・R4. 8: 宮津市持続可能な地域医療推進協議会を設置                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療MaaS、健康づくり研究事業に関することを協議</li> </ul> </li> <li>・R4. 11: 医療MaaS実証事業を実施 (~R5. 2)</li> </ul>		8,617	4,308			4,309	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			17,000	国	デジタル田園都市国家構想交付金	4,308		
			(参考)前々年度決算額					
			—					
目的・目標	将来にわたり安心して医療を受けられる環境の維持、健康寿命延伸のため、健康医療に係る研究・分析、デジタル技術を活用したオンライン診療を実施し、持続可能な地域づくりを目指す。	総計重要プロジェクト	—					
		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり					
事業概要	<p>■医療MaaS事業 7,400千円</p> <p>医療器材を搭載した車両を活用したオンライン診療を実施する</p> <p>○事業概要</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①看護師が車両に乗車し患者宅を訪問</li> <li>②患者が車両に乗り込み、医療機関にいる医師とオンラインでつなぐ</li> <li>③医師は、看護師に必要な指示を行いながら診察を行う (必要に応じ採血等も実施)</li> </ol>  <p>○事業開始</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年10月以降に事業開始を予定</li> <li>※週1~2日(月6日)程度の実施を想定</li> </ul> <p>■医療・健康づくり研究事業 1,217千円</p> <p>○新たな医療提供体制のあり方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化が進展する中で、地域に合った医療提供のあり方を検討</li> </ul> <p>○健康寿命の延伸に向けた調査研究</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・透析患者の現状分析、生活習慣病の予防研究</li> </ul>	施策分野	健康・医療					
		【宮津市総合計画以外の計画】						
		R3	第9次宮津市高齢者保健福祉計画・第8期宮津市介護保険事業計画				R3~R5	
		期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機会の確保</li> <li>・健康寿命の延伸</li> <li>・持続可能な地域づくり</li> </ul>					
		担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係			45-1624	185	

事業名	医療技術職確保支援事業	新規	予算額	財源内訳				
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
背景・経緯	・H19.10：医師確保奨学金制度創設 (H26.4～宮津市、伊根町及び与謝野町による共同事業) ・H27.04：看護師等修学資金貸与制度創設(1市2町共同事業) ・R04.10：京都府立医科大学附属北部医療センターより、医療技術職員の人材確保に向けた制度創設に係る要望書を受領		1,800				1,040	760
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳				
			—	諸	医療技術職確保奨学金返済支援事業費町分担金		1,040	
目的・目標	地域の中核医療機関である「京都府立医科大学附属北部医療センター」における医療技術職員が慢性的に不足する中、その人材確保を支援し、質の高い医療の提供を図る。		(参考)前々年度決算額					
			—					
			総計重要プロジェクト	—				
事業概要	<b>■医療技術職員に対する奨学金返済支援 1,800千円</b> R5.4.1以降の職員募集により、北部医療センターに医療技術職員として就職する者のうち、当該資格を取得するために借り受けた奨学金の返済が必要な者に対し、1市2町共同事業として奨学金の返済相当分の支援を実施  <b>○対象職種</b> 薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、視能訓練士、管理栄養士、臨床工学技士、歯科衛生士  <b>○支援内容</b> ・補助額：月額30千円を上限 ・補助期間：120ヶ月を上限 ※10年間で最大360万円の支援を実施  <b>○対象人数枠</b> 5人 ・3年間で10人の採用を目安として3年目には効果検証を行う ・4年目以降の実施は1市2町で検討		テーマ別戦略	健康でいきいきと幸せに暮らせるまちづくり				
			施策分野	健康・医療				
			【宮津市総合計画以外の計画】					
			期待される効果等	・地域医療体制の確保 ・質の高い医療の確保				
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係		45-1624	193				



事業名	上宮津地区公民館の移転整備 (公民館整備事業)	新規	予算額	財源内訳					
				国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源	
背景 経緯	施設の老朽化により、大規模改修または耐震工事が必要となっている上宮津地区公民館について、旧上宮津小学校を利活用し、移転整備するもの。 ・R2. 9: 「宮津市公共施設再編方針書」により上宮津地区公民館の移転決定 ・R3. 2: 上宮津地区公民館移転検討委員会の同意を得る。 ・R4. 5: 地元検討委員会と実施設計に向けた内容設定 ・R4. 10: 整備に係る実施設計に着手		130,000	20,000		110,000		0	
			(参考)前年度予算額	特定財源の内訳					
			—	国	過疎地域等自立活性化推進交付金	20,000	市債	過疎対策事業債	110,000
			(参考)前々年度決算額	—					
目的 目標	上宮津地区公民館を旧上宮津小学校校舎に移転整備し、生涯学習及び住民活動の基盤整備を行うことにより、多様な学習機会を創出し、生涯にわたりいきいきと学び続けられるまちづくりを目指すとともに、地域コミュニティの活性化を図る。併せて、災害時における避難所機能の整備を行う。		—						
事業 概要	<b>■上宮津地区公民館移転改修工事 130,000千円</b> 旧上宮津小学校校舎の一部(管理棟、教室棟の1階部分)を上宮津地区公民館(地区連絡所機能を含む。)に改修整備する。  ○整備内容(予定) 大会議室、調理実習室、和室、トイレ洋式化、身障者用トイレ、地区連絡所ほか		総計重要プロジェクト	—					
			テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
			施策分野	社会教育					
			【宮津市総合計画以外の計画】						
			R3	宮津市教育大綱・教育振興基本計画		R3~R7			
			期待される効果等 ・地域住民の生涯学習の意欲の向上 ・地域コミュニティの活性化 ・公共施設マネジメントの推進 遊休施設(廃校舎)活用した公共施設の再編						
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">現公民館</div>  </div> <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">旧上宮津小学校</div>  </div> </div>		<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>4 質の高い教育を みんなに</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> </div>		担当部署 教育委員会事務局 社会教育課 社会教育係	45-1642	198			

事業名	新規	予算額	財源内訳				
			国庫支出金	府支出金	市債	その他	一般財源
<b>文化庁京都移転を契機とした文化創造・発信事業 (文化芸術活動活性化事業、文化財保護・活用推進事業)</b>  ・R3.4 宮津市文化芸術活動活性化事業補助金制度の創設 ・R4.9 天橋立周年記念事業 モノオペラ「ガラシャ」天橋立公演開催 宮津市文化芸術ブランドアンバサダーに田中彩子氏を任命 <文化庁京都移転の動き> ・H29.6 文化芸術に関する施策の一層の推進を図る「文化芸術基本法」が施行 ・H30.10 文化行政を総合的に推進するため機能強化された「新・文化庁」が発足 ・R 5. 3 R5.3.27 文化庁が京都で業務開始		3,000	1,500			1,000	500
	(参考)前年度予算額		特定財源の内訳				
	—	国	デジタル田園都市国家構想交付金			1,500	
	(参考)前々年度決算額	繰入	教育基金繰入金			1,000	
<b>目的</b> 文化庁の京都移転を歓迎するため、京都府を中心としたオール京都で「京都中を文化で彩る一年」にしよう、様々な文化芸術の取組が集中的に展開される中、本市においても、「豊かな心と体が育まれる文化芸術のまち」の実現を目指し、地域の文化活動と連携し、市民が文化を身近に感じ関心が持てる機会となる事業を展開する。		—					
	総計重要プロジェクト	—					
<b>事業概要</b>  <b>■文化庁京都移転記念事業 2,000千円</b> 文化庁京都移転を契機とした新たな文化施策の展開に向けて、本市の文化活動と連携した「音楽」を中心とした文化イベントを開催 ○開催時期：京都府と連携した移転歓迎イベントとして秋(9月～11月)に開催  <b>■文化庁京都移転記念フォーラムの開催 500千円</b> 文化財の保存活用が地域の活性化に果たす役割や、天橋立ほか市域の文化資源の活用の手法などをテーマに、これからの文化行政・文化財の保存活用のあり方を模索するフォーラムを開催 ○開催時期：京都府と連携した移転歓迎イベントとして秋(9月～11月)に開催  <b>■子ども学芸員養成講座の開催 500千円</b> 小学生を対象に、古文書や土器などの実物の歴史資料に触れ、その調査や保存管理、展示設営等の学芸員の仕事を学ぶ体験講座を開催。子ども達の郷土の歴史や文化に対する関心を高め、郷土を愛する意識の涵養を図るとともに、将来における地域の歴史文化の担い手創出につなげる ○開催時期：夏休み期間(7月～8月)での実施	テーマ別戦略	ふるさとを大切に学びを深めるまちづくり					
	施策分野	文化・スポーツ振興、文化財保存・活用					
	【宮津市総合計画以外の計画】						
	R2	宮津市教育大綱・教育振興基本計画				R3～R7	
	期待される効果等	文化庁京都移転を契機とした文化活動の活性化  【第7次宮津市総合計画目標数値】 ・歴史的建造物等を活用した音楽・文化活動回数 R元:0回 → R7:12回					
	担当部署	企画財政部企画課企画政策係 教育委員会事務局社会教育課社会教育係			45-1664 45-1642	216	





令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	国民健康保険事業特別会計			設置目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、被保険者に必要な保険給付、保健事業を行う。																																																						
予 算	歳 入			令和5年度	令和4年度	増 減	歳 出																																																				
	1 国民健康保険税			375,360	382,615	△ 7,255	1 総務費																																																				
	2 使用料及び手数料			200	200	0	2 保険給付費																																																				
	3 国庫支出金			55	0	55	(項)療養諸費																																																				
	4 府支出金			1,336,033	1,414,590	△ 78,557	3 国民健康保険事業費納付金																																																				
	(節)普通交付金			1,293,923	1,371,719	△ 77,796	4 保健事業費																																																				
	(節)特別交付金			42,110	42,871	△ 761	5 基金積立金																																																				
	5 財産収入			16	16	0	6 公債費																																																				
	6 繰入金			196,423	206,994	△ 10,571	7 諸支出金																																																				
	(目)一般会計繰入金			176,423	186,994	△ 10,571	8 予備費																																																				
	(目)基金繰入金			20,000	20,000	0																																																					
	7 繰越金			1,000	3,100	△ 2,100																																																					
	8 諸収入			5,809	5,809	0																																																					
	合 計			1,914,896	2,013,324	△ 98,428	合 計																																																				
予算概要 (予算の特徴)	<p>■国保制度の都道府県単位化(H30～)により、京都府が算定する国保事業費納付金及び標準保険税率に基づき、適切な国保事業の運営を図る。</p> <p>○歳入においては、国保事業納付金の減により国民健康保険税は1.9%減、保険給付費の減により府支出金は5.6%減。</p> <p>○歳出においては、被保険者数の減少により保険給付費は5.6%減。府全体の1人当たり医療費は増となっているが、府全体における本市被保険者数の割合の減少等により、国保事業費納付金は2.8%減。</p> <p>○出産育児一時金の増額(42万円⇒50万円/児)</p> <p>○第2期データヘルス計画・第3期特定健康診査等実施計画(H30年度策定)に基づき、引き続き特定健診及び特定保健指導などの保健事業を推進。</p>																																																										
備 考 (特記事項)	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H29決算</th> <th>H30決算</th> <th>R元決算</th> <th>R2決算</th> <th>R3決算</th> <th colspan="2">R4当初</th> <th colspan="2">R5見込</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人当たり保険税(円) 2年連続増</td> <td>93,650</td> <td>75,634</td> <td>85,721</td> <td>86,193</td> <td>81,011</td> <td>86,758</td> <td>(+7.1%)</td> <td>91,962</td> <td>(+6.0%)</td> </tr> <tr> <td>1人当たり医療費(円) 微増に転じる</td> <td>396,777</td> <td>402,027</td> <td>385,051</td> <td>378,529</td> <td>387,926</td> <td>368,235</td> <td>(△5.1%)</td> <td>374,272</td> <td>(+1.6%)</td> </tr> <tr> <td>被保険者数(平均)(人) 引き続き減少</td> <td>5,075</td> <td>4,922</td> <td>4,745</td> <td>4,607</td> <td>4,530</td> <td>4,406</td> <td>(△2.7%)</td> <td>4,075</td> <td>(△7.5%)</td> </tr> <tr> <td>国保事業基金残高(千円)※R4-R5は見込</td> <td>118,181</td> <td>158,194</td> <td>164,194</td> <td>177,194</td> <td>173,196</td> <td>153,212</td> <td>(△19,984)</td> <td>133,228</td> <td>(△19,984)</td> </tr> </tbody> </table>										H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4当初		R5見込		1人当たり保険税(円) 2年連続増	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	86,758	(+7.1%)	91,962	(+6.0%)	1人当たり医療費(円) 微増に転じる	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	368,235	(△5.1%)	374,272	(+1.6%)	被保険者数(平均)(人) 引き続き減少	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,406	(△2.7%)	4,075	(△7.5%)	国保事業基金残高(千円)※R4-R5は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	153,212	(△19,984)	133,228	(△19,984)
	H29決算	H30決算	R元決算	R2決算	R3決算	R4当初		R5見込																																																			
1人当たり保険税(円) 2年連続増	93,650	75,634	85,721	86,193	81,011	86,758	(+7.1%)	91,962	(+6.0%)																																																		
1人当たり医療費(円) 微増に転じる	396,777	402,027	385,051	378,529	387,926	368,235	(△5.1%)	374,272	(+1.6%)																																																		
被保険者数(平均)(人) 引き続き減少	5,075	4,922	4,745	4,607	4,530	4,406	(△2.7%)	4,075	(△7.5%)																																																		
国保事業基金残高(千円)※R4-R5は見込	118,181	158,194	164,194	177,194	173,196	153,212	(△19,984)	133,228	(△19,984)																																																		
担当部署	市民環境部 税務・国保課 国保年金係						TEL	45-1616	特 2																																																		



令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

<p>会計名等</p>	<p>後期高齢者医療特別会計</p>			<p>設置目的</p>	<p>原則75歳以上の高齢者に対して、保険給付等「生活を支える医療」を提供するため、京都府後期高齢者医療広域連合と本市が事務を分担しながら、後期高齢者医療制度の安定的な運営を図る。</p>																																																										
<p>予 算</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 保険料</td> <td>280,403</td> <td>269,902</td> <td>10,501</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>108,588</td> <td>104,551</td> <td>4,037</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>500</td> <td>100</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入</td> <td>632</td> <td>605</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td><b>合 計</b></td> <td><b>390,133</b></td> <td><b>375,168</b></td> <td><b>14,965</b></td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減	1 保険料	280,403	269,902	10,501	2 使用料及び手数料	10	10	0	3 繰入金	108,588	104,551	4,037	4 繰越金	500	100	400	5 諸収入	632	605	27	<b>合 計</b>	<b>390,133</b>	<b>375,168</b>	<b>14,965</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>2,867</td> <td>4,303</td> <td>△ 1,436</td> </tr> <tr> <td>2 後期高齢者医療広域連合納付金</td> <td>382,175</td> <td>366,861</td> <td>15,314</td> </tr> <tr> <td>3 保健事業費</td> <td>4,091</td> <td>3,304</td> <td>787</td> </tr> <tr> <td>4 諸支出金</td> <td>500</td> <td>600</td> <td>△ 100</td> </tr> <tr> <td>5 予備費</td> <td>500</td> <td>100</td> <td>400</td> </tr> <tr> <td><b>合 計</b></td> <td><b>390,133</b></td> <td><b>375,168</b></td> <td><b>14,965</b></td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減	1 総務費	2,867	4,303	△ 1,436	2 後期高齢者医療広域連合納付金	382,175	366,861	15,314	3 保健事業費	4,091	3,304	787	4 諸支出金	500	600	△ 100	5 予備費	500	100	400	<b>合 計</b>	<b>390,133</b>	<b>375,168</b>	<b>14,965</b>
歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減																																																												
1 保険料	280,403	269,902	10,501																																																												
2 使用料及び手数料	10	10	0																																																												
3 繰入金	108,588	104,551	4,037																																																												
4 繰越金	500	100	400																																																												
5 諸収入	632	605	27																																																												
<b>合 計</b>	<b>390,133</b>	<b>375,168</b>	<b>14,965</b>																																																												
歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減																																																												
1 総務費	2,867	4,303	△ 1,436																																																												
2 後期高齢者医療広域連合納付金	382,175	366,861	15,314																																																												
3 保健事業費	4,091	3,304	787																																																												
4 諸支出金	500	600	△ 100																																																												
5 予備費	500	100	400																																																												
<b>合 計</b>	<b>390,133</b>	<b>375,168</b>	<b>14,965</b>																																																												
<p>予算概要 (予算の特徴)</p>	<p>■京都府後期高齢者医療広域連合が賦課する保険料の徴収及び保健事業の実施など適切な運営を図る。                  ○歳入においては、被保険者数の増加により保険料は3.9%増。                  ○歳出においては、被保険者数の増加に伴う保険料等負担金（徴収した保険料）と保険基盤安定負担金（低所得者等の保険料軽減に係る負担金）の増加により、後期高齢者医療広域連合納付金は4.2%増。                  ○人間ドック補助について、団塊世代加入による対象者の増加が見込まれることから、補助金交付制度の維持に向け補助率を8割（現行9割）に見直し。</p>																																																														
<p>備 考 (特記事項)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R 3 決算</th> <th>R 4 当初</th> <th>R 5 当初</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>宮津市の平均被保険者数</td> <td>4,097人(-1.8%)</td> <td>4,151人(+1.3%)</td> <td>4,296人(+3.5%)</td> </tr> <tr> <td>現年度保険料総額</td> <td>253,157千円</td> <td>269,402千円</td> <td>279,903千円</td> </tr> <tr> <td>1人当たりの保険料</td> <td>61,791円</td> <td>64,900円</td> <td>65,154円</td> </tr> <tr> <td>[参考:府全体被保険者数]</td> <td>378,513人[+0.7%]</td> <td>393,970人(+4.1%)</td> <td>410,517人(+4.2%)</td> </tr> <tr> <td>府全体の1人当たり保険料(隔年改定時)</td> <td>85,951円</td> <td colspan="2">86,421円</td> </tr> </tbody> </table>					R 3 決算	R 4 当初	R 5 当初	宮津市の平均被保険者数	4,097人(-1.8%)	4,151人(+1.3%)	4,296人(+3.5%)	現年度保険料総額	253,157千円	269,402千円	279,903千円	1人当たりの保険料	61,791円	64,900円	65,154円	[参考:府全体被保険者数]	378,513人[+0.7%]	393,970人(+4.1%)	410,517人(+4.2%)	府全体の1人当たり保険料(隔年改定時)	85,951円	86,421円																																				
	R 3 決算	R 4 当初	R 5 当初																																																												
宮津市の平均被保険者数	4,097人(-1.8%)	4,151人(+1.3%)	4,296人(+3.5%)																																																												
現年度保険料総額	253,157千円	269,402千円	279,903千円																																																												
1人当たりの保険料	61,791円	64,900円	65,154円																																																												
[参考:府全体被保険者数]	378,513人[+0.7%]	393,970人(+4.1%)	410,517人(+4.2%)																																																												
府全体の1人当たり保険料(隔年改定時)	85,951円	86,421円																																																													
<p>担当部署</p>	<p>市民環境部 税務・国保課 国保年金係</p>				<p>TEL</p>	<p>45-1616</p>	<p>特3</p>																																																								

会計名等	介護保険事業特別会計			設置目的	介護保険事業の運営を行う。																														
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>			歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> </table>				歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減																				
	歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減																															
	歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減																															
	1 保険料			520,034	520,166	△ 132	1 総務費			64,442	65,479	△ 1,037																							
	2 使用料及び手数料			31	31	0	2 保険給付費			2,623,630	2,644,370	△ 20,740																							
	3 国庫支出金			734,877	739,966	△ 5,089	(項)介護サービス等諸費			2,393,300	2,412,770	△ 19,470																							
	4 支払基金交付金			737,802	743,627	△ 5,825	(項)介護予防サービス等諸費			69,690	69,980	△ 290																							
	5 府支出金			419,776	421,603	△ 1,827	3 地域支援事業費			170,785	169,177	1,608																							
	6 財産収入			28	22	6	(項)介護予防・生活支援サービス事業費			107,435	108,245	△ 810																							
	7 繰入金			458,101	461,283	△ 3,182	(項)一般介護予防事業費			1,260	1,286	△ 26																							
	8 繰越金			1	735	△ 734	(項)包括的支援事業・任意事業費			61,813	59,366	2,447																							
9 諸収入			6	6	0	4 基金積立金			28	22	6																								
合 計			2,870,656	2,887,439	△ 16,783	5 公債費			100	100	0																								
						6 諸支出金			1,403	2,037	△ 634																								
						7 予備費			10,268	6,254	4,014																								
合 計			2,870,656	2,887,439	△ 16,783	合 計			2,870,656	2,887,439	△ 16,783																								
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護保険料 保険料軽減(対象:所得区分第1段階から第3段階まで)を継続して実施。</li> <li>・保険給付費 居宅介護サービス費、施設介護サービス費等の減により、対前年度比0.8%減。</li> <li>・地域支援事業費 包括的支援事業費・任意事業費の増(一般職職員人件費等)などにより、対前年度比1.0%増。</li> </ul>																																		
備考 (特記事項)	<table border="1" data-bbox="280 1177 1518 1300"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1号被保険者数</th> <th>要介護等認定者数(1号)</th> <th>要介護認定率</th> <th>総合事業対象者</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.12月末</td> <td>7,141人</td> <td>1,847人(要支援665人、要介護1,182人)</td> <td>25.9%</td> <td>16人</td> <td>43.1%</td> </tr> <tr> <td>R3.12月末</td> <td>7,223人</td> <td>1,877人(要支援648人、要介護1,229人)</td> <td>26.0%</td> <td>15人</td> <td>42.8%</td> </tr> <tr> <td>増減</td> <td>△82人(△1.1%)</td> <td>△30人(△1.6%)</td> <td>△0.1%</td> <td>+1人</td> <td>+0.3%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【地域支援事業】介護予防・日常生活支援総合事業(訪問型・通所型サービス、一般介護予防事業など)の実施                  地域包括ケアシステム(在宅医療・介護連携の推進、生活支援体制の整備など)の推進                  認知症施策(認知症初期集中支援チームによる支援、認知症カフェの運営など)の推進                  成年後見支援センターの運営</p> <div data-bbox="1912 1289 2040 1417"> </div> <div data-bbox="2056 1289 2184 1417"> </div>												第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率	R4.12月末	7,141人	1,847人(要支援665人、要介護1,182人)	25.9%	16人	43.1%	R3.12月末	7,223人	1,877人(要支援648人、要介護1,229人)	26.0%	15人	42.8%	増減	△82人(△1.1%)	△30人(△1.6%)	△0.1%	+1人	+0.3%
	第1号被保険者数	要介護等認定者数(1号)	要介護認定率	総合事業対象者	高齢化率																														
R4.12月末	7,141人	1,847人(要支援665人、要介護1,182人)	25.9%	16人	43.1%																														
R3.12月末	7,223人	1,877人(要支援648人、要介護1,229人)	26.0%	15人	42.8%																														
増減	△82人(△1.1%)	△30人(△1.6%)	△0.1%	+1人	+0.3%																														
担当部署	健康福祉部 健康介護課 介護給付係・介護認定係・介護予防係							TEL	45-1619	特 4																									

令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	介護予防支援事業特別会計					設置目的	要支援1、2の認定を受けた者に対するケアプランの作成等を行う。																																															
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 サービス収入</td> <td>10,787</td> <td>10,073</td> <td>714</td> </tr> <tr> <td>2 繰越金</td> <td>1,726</td> <td>3,693</td> <td>△ 1,967</td> </tr> <tr> <td>3 諸収入</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12,514</td> <td>13,767</td> <td>△ 1,253</td> </tr> </tbody> </table>					歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減	1 サービス収入	10,787	10,073	714	2 繰越金	1,726	3,693	△ 1,967	3 諸収入	1	1	0	合 計	12,514	13,767	△ 1,253	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 総務費</td> <td>7,397</td> <td>6,737</td> <td>660</td> </tr> <tr> <td>2 事業費(介護予防支援事業費)</td> <td>4,691</td> <td>3,914</td> <td>777</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>426</td> <td>2,116</td> <td>△ 1,690</td> </tr> <tr> <td>△ 諸支出金</td> <td>0</td> <td>1,000</td> <td>△ 1,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>12,514</td> <td>13,767</td> <td>△ 1,253</td> </tr> </tbody> </table>					歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減	1 総務費	7,397	6,737	660	2 事業費(介護予防支援事業費)	4,691	3,914	777	3 予備費	426	2,116	△ 1,690	△ 諸支出金	0	1,000	△ 1,000	合 計	12,514	13,767	△ 1,253
	歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減																																																		
	1 サービス収入	10,787	10,073	714																																																		
	2 繰越金	1,726	3,693	△ 1,967																																																		
	3 諸収入	1	1	0																																																		
	合 計	12,514	13,767	△ 1,253																																																		
歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減																																																			
1 総務費	7,397	6,737	660																																																			
2 事業費(介護予防支援事業費)	4,691	3,914	777																																																			
3 予備費	426	2,116	△ 1,690																																																			
△ 諸支出金	0	1,000	△ 1,000																																																			
合 計	12,514	13,767	△ 1,253																																																			
<p>・高齢化率の上昇や高い要介護等認定率を背景として、介護予防サービス利用者やそのケアプラン作成数の増加が見込まれるため、介護予防サービス計画費収入は前年微増を見込む。</p>																																																						
備考 (特記事項)	〔介護予防ケアプラン作成数(年間)〕					〔参考：令和4年12月末現在〕																																																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>R5見込</th> <th>R4見込</th> <th>R3実績</th> <th>R2実績</th> <th>参考 R4職員体制</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>南部圏域 (宮津市包括支援センター)</td> <td>2,419件</td> <td>2,405件</td> <td>2,270件</td> <td>2,226件</td> <td>11人</td> </tr> <tr> <td>北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)</td> <td>740件</td> <td>766件</td> <td>846件</td> <td>811件</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3,159件</td> <td>3,171件</td> <td>3,116件</td> <td>3,037件</td> <td>14人</td> </tr> </tbody> </table>					区分	R5見込	R4見込	R3実績	R2実績	参考 R4職員体制	南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,419件	2,405件	2,270件	2,226件	11人	北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	740件	766件	846件	811件	3人	計	3,159件	3,171件	3,116件	3,037件	14人	<table border="1"> <thead> <tr> <th>対象月</th> <th>要支援認定者数</th> <th>要介護認定者数</th> <th>市人口</th> <th>65歳以上人口</th> <th>高齢化率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>R4.12末</td> <td>665人</td> <td>1,182人</td> <td>16,721人</td> <td>7,208人</td> <td>43.1%</td> </tr> <tr> <td>R3.12末</td> <td>648人</td> <td>1,229人</td> <td>17,025人</td> <td>7,293人</td> <td>42.8%</td> </tr> </tbody> </table>					対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率	R4.12末	665人	1,182人	16,721人	7,208人	43.1%	R3.12末	648人	1,229人	17,025人	7,293人	42.8%		
	区分	R5見込	R4見込	R3実績	R2実績	参考 R4職員体制																																																
南部圏域 (宮津市包括支援センター)	2,419件	2,405件	2,270件	2,226件	11人																																																	
北部圏域 (宮津北部地域包括支援センター)	740件	766件	846件	811件	3人																																																	
計	3,159件	3,171件	3,116件	3,037件	14人																																																	
対象月	要支援認定者数	要介護認定者数	市人口	65歳以上人口	高齢化率																																																	
R4.12末	665人	1,182人	16,721人	7,208人	43.1%																																																	
R3.12末	648人	1,229人	17,025人	7,293人	42.8%																																																	
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>1 負担をなくそう</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>3 すべての人に健康と福祉を</p> </div> </div>																																																						
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 介護予防係					TEL	45-1620	特5																																														

会計名等	休日応急診療所事業特別会計			設置目的	休日応急診療所事業の運営を行う。																																																																														
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 入</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 診療収入</td> <td>5,362</td> <td>4,428</td> <td>934</td> </tr> <tr> <td>2 使用料及び手数料(証明手数料)</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 繰入金</td> <td>6,907</td> <td>6,949</td> <td>△ 42</td> </tr> <tr> <td>4 繰越金</td> <td>700</td> <td>700</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>5 諸収入(2町分担金)</td> <td>9,750</td> <td>9,807</td> <td>△ 57</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>22,720</td> <td>21,885</td> <td>835</td> </tr> </tbody> </table>			歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減	1 診療収入	5,362	4,428	934	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0	3 繰入金	6,907	6,949	△ 42	4 繰越金	700	700	0	5 諸収入(2町分担金)	9,750	9,807	△ 57	合 計	22,720	21,885	835	<table border="1"> <thead> <tr> <th>歳 出</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>増 減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 休日応急診療所費</td> <td>19,681</td> <td>18,846</td> <td>835</td> </tr> <tr> <td>    管理医師報酬等</td> <td>1,567</td> <td>1,567</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    休日応急診療所管理運営事業</td> <td>1,449</td> <td>1,222</td> <td>227</td> </tr> <tr> <td>    出務医師報酬</td> <td>7,109</td> <td>7,019</td> <td>90</td> </tr> <tr> <td>    休日応急診療所診療事業</td> <td>9,556</td> <td>9,038</td> <td>518</td> </tr> <tr> <td>2 公債費</td> <td>2,539</td> <td>2,539</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    市債償還元金</td> <td>2,313</td> <td>2,236</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>    市債利子</td> <td>225</td> <td>302</td> <td>△ 77</td> </tr> <tr> <td>    一時借入金</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>500</td> <td>500</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>22,720</td> <td>21,885</td> <td>835</td> </tr> </tbody> </table>				歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減	1 休日応急診療所費	19,681	18,846	835	管理医師報酬等	1,567	1,567	0	休日応急診療所管理運営事業	1,449	1,222	227	出務医師報酬	7,109	7,019	90	休日応急診療所診療事業	9,556	9,038	518	2 公債費	2,539	2,539	0	市債償還元金	2,313	2,236	77	市債利子	225	302	△ 77	一時借入金	1	1	0	3 予備費	500	500	0	合 計	22,720	21,885	835
	歳 入	令和5年度	令和4年度	増 減																																																																															
	1 診療収入	5,362	4,428	934																																																																															
	2 使用料及び手数料(証明手数料)	1	1	0																																																																															
	3 繰入金	6,907	6,949	△ 42																																																																															
	4 繰越金	700	700	0																																																																															
	5 諸収入(2町分担金)	9,750	9,807	△ 57																																																																															
	合 計	22,720	21,885	835																																																																															
	歳 出	令和5年度	令和4年度	増 減																																																																															
	1 休日応急診療所費	19,681	18,846	835																																																																															
管理医師報酬等	1,567	1,567	0																																																																																
休日応急診療所管理運営事業	1,449	1,222	227																																																																																
出務医師報酬	7,109	7,019	90																																																																																
休日応急診療所診療事業	9,556	9,038	518																																																																																
2 公債費	2,539	2,539	0																																																																																
市債償還元金	2,313	2,236	77																																																																																
市債利子	225	302	△ 77																																																																																
一時借入金	1	1	0																																																																																
3 予備費	500	500	0																																																																																
合 計	22,720	21,885	835																																																																																
予算概要 (予算の特徴)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療科目…内科、小児科</li> <li>・診療医師…一般社団法人与謝医師会に委託（15名の医師が輪番出務）</li> <li>・看護師…非常勤職員6名（2名ずつ出務）</li> <li>・医事事務…民間事業者に委託</li> <li>・診療日…日曜日、祝日、年末年始（年間72日） ※令和4年度71日</li> </ul>																																																																																		
備考 (特記事項)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成8年6月から診療開始。休日応急診療所整備に係る起債償還期間は平成37年度（令和7年度）まで。</li> <li>・休日応急診療所事業費分担金内訳 宮津市…6,907千円、伊根町…1,305千円、与謝野町…8,445千円</li> </ul>																																																																																		
担当部署	健康福祉部 健康・介護課 健康増進係				TEL	45-1624	特 6																																																																												



令和5年3月定例会

令和5年度当初予算 事業等説明資料

(単位:千円)

会計名等	財産区特別会計			設置目的	各財産区の円滑な運営を図る。							
予 算	財 産 区	予 算 規 模			主 な 歳 入			主 な 歳 出				
		令和5年度	令和4年度	増 減	項目	令和5年度	令和4年度	増 減	項目	令和5年度	令和4年度	増 減
	上宮津財産区	12,302	9,311	2,991	財産収入	3,592	3,592	0	造林事業費	1,730	5,030	△ 3,300
	由良財産区	292	292	0	財産収入	91	91	0	総務費	64	64	0
	栗田財産区	1,206	9,774	△ 8,568	財産収入	205	205	0	総務費	279	7,854	△ 7,575
	吉津財産区	2,607	7,255	△ 4,648	財産収入	606	606	0	造林事業費	0	6,515	△ 6,515
	世屋財産区	152	152	0	財産収入	81	81	0	総務費	88	88	0
	養老財産区	1,022	3,678	△ 2,656	財産収入	121	137	△ 16	造林事業費	0	3,204	△ 3,204
	日ヶ谷財産区	252	252	0	財産収入	51	51	0	総務費	56	56	0
	17,833	30,714	△ 12,881		4,747	4,763	△ 16		2,217	22,811	△ 20,594	
予算概要 (予算の特徴)	<p>&lt;上宮津財産区&gt; ・自治振興交付金及び直営林造林事業の施工による増                      ・国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センターと分収造林契約の更改（造林者の変更）に伴う減</p> <p>&lt;栗田財産区&gt; ・財産貸付収入（山土採取に係る一時金）の終了に伴う減</p> <p>&lt;吉津財産区&gt; ・直営林造林事業の終了に伴う減</p> <p>&lt;養老財産区&gt; ・直営林造林事業の終了に伴う減</p>											
備 考 (特記事項)												
担当部署	産業経済部 農林水産課 産業基盤係							TEL	45-1627	特7		

会計名等	水道事業会計			設置目的	安全でおいしい水を供給する					
予 算	収益的収入(税込) A		令和5年度	令和4年度	比較	収益的支出(税込) B		令和5年度	令和4年度	比較
	1 営業収益		571,903	552,551	19,352	1 営業費用		591,274	571,934	19,340
	給水収益		569,143	550,032	19,111	原水及び浄水費		189,236	179,924	9,312
	2 営業外収益		166,690	169,336	△ 2,646	減価償却費		267,562	257,940	9,622
	他会計補助金		19,754	22,004	△ 2,250	2 営業外費用		48,961	52,297	△ 3,336
	長期前受金戻入		66,209	68,037	△ 1,828	支払利息		44,997	45,524	△ 527
	資本費繰入収益		67,610	65,547	2,063	消費税等		2,609	5,321	△ 2,712
	その他		13,117	13,648	△ 531	3 特別損失		2	2	0
	3 特別利益		2	2	0	4 予備費		6,000	6,000	0
	合 計		738,595	721,889	16,706	合 計		646,237	630,233	16,004
	資本的収入(税込) C		令和5年度	令和4年度	比較	資本的支出(税込) D		令和5年度	令和4年度	比較
	1 企業債		373,100	299,400	73,700	1 建設改良費		442,577	370,141	72,436
	2 加入負担金		3,300	1,170	2,130	拡張改良費		223,878	173,611	50,267
	3 出資金		1,101	1,101	0	浄水場整備費		208,300	186,000	22,300
	4 国庫補助金		40,133	25,666	14,467	2 企業債償還金		249,027	245,088	3,939
5 その他		0	0	0	3 その他・予備費		1,573	1,199	374	
合 計		417,634	327,337	90,297	合 計		693,177	616,428	76,749	
		令和5年度	令和4年度	比較						
収益的収支差引 A-B		92,358	91,656	702						
資本的収支差引 C-D		△ 275,543	△ 289,091	13,548						
予算概要	<p>【3条予算(収益的収支)】                      収入では、コロナ禍の影響が減少傾向にあることから、有収水量の増加を見込み、総額で、前年度比16,706千円の増となる738,595千円とした。                      支出では、動力費や材料費、減価償却費などの増を見込み、総額で、前年度比16,004千円の増となる646,237千円とし、収支差引額は92,358千円の黒字</p> <p>【4条予算(資本的収支)】                      栗田半島線等の配水管布設替や上宮津浄水場大規模改修の継続、IoTを活用した遠隔監視、遠隔操作システムの整備により、収支差引額は275,543千円の不足</p>									
備考	<p>○IoTを活用した遠隔監視、遠隔操作システムの整備…中央監視装置(庁舎内)、滝馬浄水場、文珠ポンプ所                      ○窓口業務・料金徴収業務等の一体的な民間委託に係る債務負担行為の設定 200,000千円(委託期間:令和6年4月~令和11年3月の5年間)</p>									
担当部署	建設部 上下水道課 管理係							TEL	45-1635	特8



会計名等	下水道事業会計	設置目的	公共用水域の水質の保全と生活環境の向上を図る。																																																																																			
予 算	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的収入(税込) A</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業収益</td> <td>305,808</td> <td>258,424</td> <td>47,384</td> </tr> <tr> <td>    下水道使用料</td> <td>305,385</td> <td>258,018</td> <td>47,367</td> </tr> <tr> <td>2 営業外収益</td> <td>612,747</td> <td>590,978</td> <td>21,769</td> </tr> <tr> <td>    他会計補助金</td> <td>415,899</td> <td>391,132</td> <td>24,767</td> </tr> <tr> <td>    国庫補助金</td> <td>2,500</td> <td>1,000</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>    長期前受金戻入</td> <td>192,251</td> <td>188,401</td> <td>3,850</td> </tr> <tr> <td>    資本費繰入収益</td> <td>1,343</td> <td>1,440</td> <td>△ 97</td> </tr> <tr> <td>3 特別利益</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>918,557</td> <td>849,404</td> <td>69,153</td> </tr> </tbody> </table>			収益的収入(税込) A	令和5年度	令和4年度	比較	1 営業収益	305,808	258,424	47,384	下水道使用料	305,385	258,018	47,367	2 営業外収益	612,747	590,978	21,769	他会計補助金	415,899	391,132	24,767	国庫補助金	2,500	1,000	1,500	長期前受金戻入	192,251	188,401	3,850	資本費繰入収益	1,343	1,440	△ 97	3 特別利益	2	2	0	合 計	918,557	849,404	69,153	<table border="1"> <thead> <tr> <th>収益的支出(税込) B</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 営業費用</td> <td>842,802</td> <td>811,857</td> <td>30,945</td> </tr> <tr> <td>    管渠費</td> <td>16,306</td> <td>13,118</td> <td>3,188</td> </tr> <tr> <td>    ポンプ場費</td> <td>18,330</td> <td>17,165</td> <td>1,165</td> </tr> <tr> <td>    流域下水道維持管理費</td> <td>332,475</td> <td>304,925</td> <td>27,550</td> </tr> <tr> <td>    減価償却費</td> <td>446,826</td> <td>444,558</td> <td>2,268</td> </tr> <tr> <td>2 営業外費用</td> <td>85,463</td> <td>92,510</td> <td>△ 7,047</td> </tr> <tr> <td>    支払利息</td> <td>85,393</td> <td>92,440</td> <td>△ 7,047</td> </tr> <tr> <td>3 特別損失・予備費</td> <td>6,002</td> <td>6,002</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>934,267</td> <td>910,369</td> <td>23,898</td> </tr> </tbody> </table>			収益的支出(税込) B	令和5年度	令和4年度	比較	1 営業費用	842,802	811,857	30,945	管渠費	16,306	13,118	3,188	ポンプ場費	18,330	17,165	1,165	流域下水道維持管理費	332,475	304,925	27,550	減価償却費	446,826	444,558	2,268	2 営業外費用	85,463	92,510	△ 7,047	支払利息	85,393	92,440	△ 7,047	3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0	合 計	934,267	910,369	23,898
	収益的収入(税込) A	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																		
	1 営業収益	305,808	258,424	47,384																																																																																		
	下水道使用料	305,385	258,018	47,367																																																																																		
	2 営業外収益	612,747	590,978	21,769																																																																																		
	他会計補助金	415,899	391,132	24,767																																																																																		
	国庫補助金	2,500	1,000	1,500																																																																																		
	長期前受金戻入	192,251	188,401	3,850																																																																																		
	資本費繰入収益	1,343	1,440	△ 97																																																																																		
	3 特別利益	2	2	0																																																																																		
	合 計	918,557	849,404	69,153																																																																																		
	収益的支出(税込) B	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																		
1 営業費用	842,802	811,857	30,945																																																																																			
管渠費	16,306	13,118	3,188																																																																																			
ポンプ場費	18,330	17,165	1,165																																																																																			
流域下水道維持管理費	332,475	304,925	27,550																																																																																			
減価償却費	446,826	444,558	2,268																																																																																			
2 営業外費用	85,463	92,510	△ 7,047																																																																																			
支払利息	85,393	92,440	△ 7,047																																																																																			
3 特別損失・予備費	6,002	6,002	0																																																																																			
合 計	934,267	910,369	23,898																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的収入(税込) C</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 企業債</td> <td>301,800</td> <td>376,300</td> <td>△ 74,500</td> </tr> <tr> <td>2 負担金</td> <td>6,302</td> <td>8,639</td> <td>△ 2,337</td> </tr> <tr> <td>3 他会計補助金</td> <td>138,002</td> <td>142,353</td> <td>△ 4,351</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>446,104</td> <td>527,292</td> <td>△ 81,188</td> </tr> </tbody> </table>			資本的収入(税込) C	令和5年度	令和4年度	比較	1 企業債	301,800	376,300	△ 74,500	2 負担金	6,302	8,639	△ 2,337	3 他会計補助金	138,002	142,353	△ 4,351	合 計	446,104	527,292	△ 81,188	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資本的支出(税込) D</th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 建設改良費</td> <td>96,575</td> <td>126,167</td> <td>△ 29,592</td> </tr> <tr> <td>    公共下水道費</td> <td>46,810</td> <td>70,128</td> <td>△ 23,318</td> </tr> <tr> <td>    流域下水道費</td> <td>49,765</td> <td>56,039</td> <td>△ 6,274</td> </tr> <tr> <td>2 企業債償還金・他会計借入金償還金</td> <td>687,398</td> <td>700,286</td> <td>△ 12,888</td> </tr> <tr> <td>3 予備費</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>784,973</td> <td>827,453</td> <td>△ 42,480</td> </tr> </tbody> </table>			資本的支出(税込) D	令和5年度	令和4年度	比較	1 建設改良費	96,575	126,167	△ 29,592	公共下水道費	46,810	70,128	△ 23,318	流域下水道費	49,765	56,039	△ 6,274	2 企業債償還金・他会計借入金償還金	687,398	700,286	△ 12,888	3 予備費	1,000	1,000	0	合 計	784,973	827,453	△ 42,480																																	
資本的収入(税込) C	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																			
1 企業債	301,800	376,300	△ 74,500																																																																																			
2 負担金	6,302	8,639	△ 2,337																																																																																			
3 他会計補助金	138,002	142,353	△ 4,351																																																																																			
合 計	446,104	527,292	△ 81,188																																																																																			
資本的支出(税込) D	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																			
1 建設改良費	96,575	126,167	△ 29,592																																																																																			
公共下水道費	46,810	70,128	△ 23,318																																																																																			
流域下水道費	49,765	56,039	△ 6,274																																																																																			
2 企業債償還金・他会計借入金償還金	687,398	700,286	△ 12,888																																																																																			
3 予備費	1,000	1,000	0																																																																																			
合 計	784,973	827,453	△ 42,480																																																																																			
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収益的収支差引 A-B</td> <td>△ 15,710</td> <td>△ 60,965</td> <td>45,255</td> </tr> <tr> <td>資本的収支差引 C-D</td> <td>△ 338,869</td> <td>△ 300,161</td> <td>△ 38,708</td> </tr> </tbody> </table>				令和5年度	令和4年度	比較	収益的収支差引 A-B	△ 15,710	△ 60,965	45,255	資本的収支差引 C-D	△ 338,869	△ 300,161	△ 38,708	<p>○収益的支出に充当する借入金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>令和5年度</th> <th>令和4年度</th> <th>比較</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>資本費平準化債(利子分)</td> <td>42,200</td> <td>49,900</td> <td>△ 7,700</td> </tr> <tr> <td>一般会計からの借入金</td> <td>0</td> <td>40,000</td> <td>△ 40,000</td> </tr> </tbody> </table>				令和5年度	令和4年度	比較	資本費平準化債(利子分)	42,200	49,900	△ 7,700	一般会計からの借入金	0	40,000	△ 40,000																																																									
	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																			
収益的収支差引 A-B	△ 15,710	△ 60,965	45,255																																																																																			
資本的収支差引 C-D	△ 338,869	△ 300,161	△ 38,708																																																																																			
	令和5年度	令和4年度	比較																																																																																			
資本費平準化債(利子分)	42,200	49,900	△ 7,700																																																																																			
一般会計からの借入金	0	40,000	△ 40,000																																																																																			
予算概要	<p><b>【3条予算(収益的収支)】</b>                      収入では、令和5年10月からの料金改定を見込み、下水道使用料は前年度比で47,367千円の増となる305,385千円、また、他会計補助金等の増を見込み、前年度比で69,153千円の増となる918,557千円とした。                      支出では、支払利息の減少があるものの、管渠の点検・調査(管渠費)及び流域下水道維持管理費の増を見込み、前年度比で23,898千円の増となる934,267千円とし、収支差引額は、15,710千円の不足</p> <p><b>【4条予算(資本的収支)】</b>                      滝馬川改修に伴う下水道管の移設及び宅内ポンプ設置(漁師町)を実施し、収支差引額は338,869千円の不足</p>																																																																																					
備考	<p>○下水道が概成して3年が経過したことに伴い、「高齢者世帯公共下水道排水設備整備費補助金」は令和4年度末の接続工事をもって廃止</p>																																																																																					
担当部署	建設部 上下水道課 管理係			TEL	45-1635	特9																																																																																

